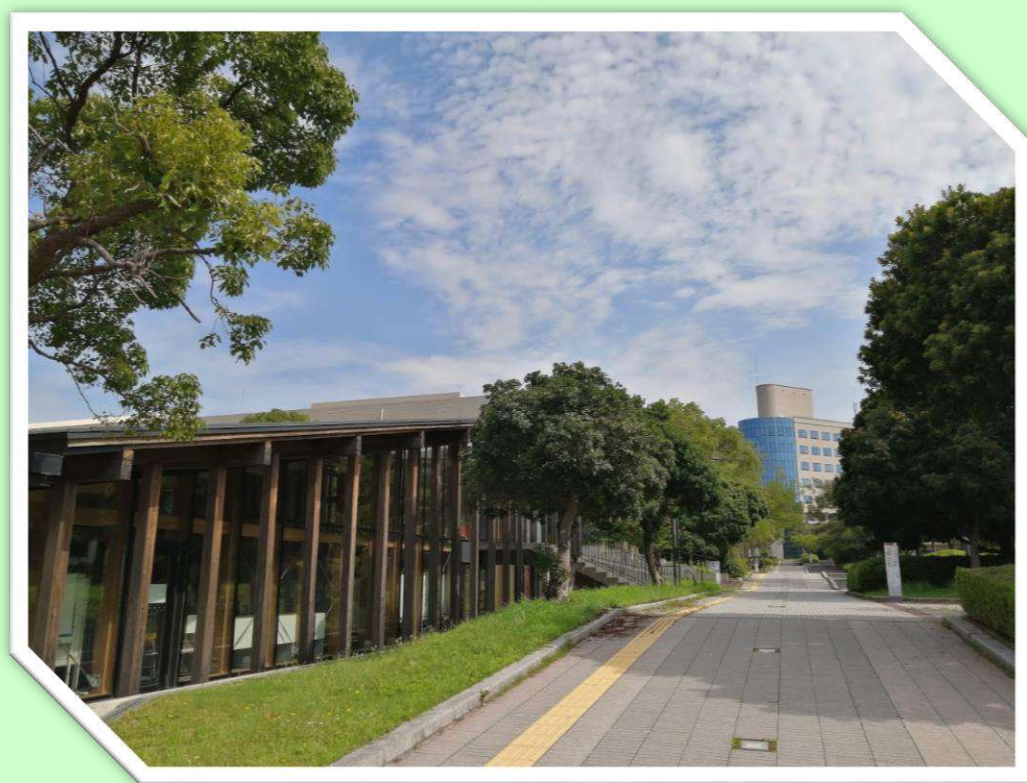


2020 和歌山大学 留学生による

第 12 回作文コンクール

～世界に、和歌山に、あなたの思いを伝えましょう！～



主催：国立大学法人和歌山大学 研究グローバル化推進機構 国際連携部門

共催：国立大学法人和歌山大学 消費者生活協同組合

第12回作文コンクールに寄せて

審査委員長 長友 文子

研究グローバル化推進機構国際連携部門では、旧 IER センター、国際学生部門で行われてきた作文コンクールを、引き続き今年も行いました。作文コンクールの趣旨は、「留学生が見た、感じた、体験した和歌山・和歌山大学」、「和歌山での留学生活から考えた日本語の社会」などを、母語と日本語で書き、世界に紹介しようというものです。第12回目を迎えた今回は、中国、インドネシア、韓国、ベトナム、ウズベキスタン、フランスの6か国からの留学生16名の応募がありました。審査の結果は次の通りです。

◎最優秀賞：

日本語・日本文化研修留学生（韓国）イ チャンミンさんの「水のような振る舞い」

◎優秀賞：

経済学研究科1年（ベトナム）ル ハ ヤンさんの「幸せご飯」

経済学部1年（インドネシア）ファジャル スチヤディさんの「和歌山ってどんな所？」

◎審査員賞：

交換留学生（中国）王 舒媛さんの「和歌山からの優しさ」

経済学部1年（中国）王 新慧さんの「私の眼の中の日本」

◎特別賞：

日本語・日本文化研修留学生（ウズベキスタン）エルガシヨフ ホリミルザさんの「豪華絢爛な和歌山」

交換留学生（中国）楊 雪さんの「和歌山での思い出」

日本語・日本文化研修留学生（インドネシア）ヌンニタ ラティファー アズハルさんの「窓から見た和歌山の景色」

◎努力賞：

交換留学生（中国）王 怡雅さんの「のんびりと暮らしている」

教育学部研究生（中国）ジャン シュオユイさんの「山川異域、風月同天」

交換留学生（中国）蘇 文静さんの「魅力的な和歌山」

日本語・日本文化研修留学生（インドネシア）ナタシャ ワンダ アリアーさんの「本心」

交換留学生（中国）孟 廷威さんの「和歌山紀行」

日本語・日本文化研修留学生（中国）張漫漫さんの「私から見た和歌山」

交換留学生（フランス）ナヨミ シズンさんの「日本の交通」

経済学部研究生（中国）劉 育伯さんの「僕から後輩の君へ」

最優秀賞に輝いたイ チャンミンさんは、タイトルから読む人をひきつける工夫がありました。和歌山には水が流れている小川が多く、水の流れは重力にも障害物にも抵抗しない、そんな水の流れを「水の振る舞い」と表現し、イさんが日常生活の中で体験した日本人の行動を「水のような振る舞い」として捉え、生き生きと描写しています。文章力はもちろんのこと、表現力や構成においても大変素晴らしい大学生らしい作文でした。

今回は、優秀賞に2名選ばれました。

まず、ル ハ ヤンさんの「幸せご飯」には、母国を離れて改めて分かったお母さんの料理への感謝の気持ちが上手に表現されていました。そこから、日本語の「いただきます」「ごちそうさま」に表される感謝の文化に思いを寄せ、タイトルの「幸せご飯」に込められている、自分のすぐ近くにある素朴な幸せを大事にしようという思いが心にひびく、心温まる作文でした。

二人目のファジャル スチャディさんの作文は、ファジャルさんしか感じられない「和歌山の魅力」を上手に表現していました。最初はうまくゆかなかった子供とのコミュニケーションが時間と共にスムーズに行くようになり、子供とのつながりが地域の人々とのつながりへと広がり、今では、大都市ではない小さな町、和歌山が第二の故郷だと思えるようにまできた、というファジャルさんの和歌山に対する気持ちが上手に表現された作文でした。

ひとつひとつ取り上げることはできませんが、審査員賞、特別賞、努力賞のみなさんの作文も、また賞には入らなかった応募作文も、全てが素晴らしい作文でした。和歌山での留学生活から得たこと、和歌山に来て期待以上のことが学べたこと、など、みなさんが留学生活の中で経験したこと、日々の生活の中で体験し思ったことが、上手にまとめ表現されていました。

みなさんの作文は、部門のHPに掲載されます。和歌山大学への留学を考えている人、和歌山や和歌山大学に興味を持っている人が、海外からアクセスして、みなさんの作文を読んでくれるでしょう。

コンクールに参加されたみなさんも、またいつかこの作文冊子を手に取り、和歌山での留学生活を思い出してください。和歌山での楽しかったことはもちろん、新型コロナ禍で残念だったことや、その他辛かったことも含めて、留学生活での経験を将来に生かし、帰国されてからも頑張ってください。そして、和歌山で共に学び共に生活した留学生の仲間をはじめ、いろんな人々との出会いと交流を、今後とも大事にしてください。

今回も審査員を務めてくださった永野先生、増野先生、嶋本先生、コンクールのお世話をいただいた松下先生、そして部門職員の方々にお礼を申し上げます。また、毎年、留学生に参加賞をくださる和生協の専務理事栗山光一郎様に、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

そして、最後になりましたが、お忙しい中、毎年、表彰をしてくださる学長に、留学生とともに、心よりお礼申し上げます。

第12回 作文コンクール

テーマ：留学生から見た和歌山

最優秀賞

イ チャンミン

LEE CHANGMIN

日本語・日本文化研修留学生（韓国）

「水のような振る舞い」

1

優秀賞

ル ハ ヤン

LUU HA GIANG

経済学研究科経済学専攻 1年（ベトナム）

「幸せご飯」

4

ファジャル スチャディ

FAJAR SETYADI

経済学部経済学科 1年（インドネシア）

「和歌山ってどんな所？」

7

審査員賞

オウ ジョエン

王 舒媛

教育学部 交換留学生（中国）

「和歌山からの優しさ」

10

オウ シンケイ

王 新慧

経済学部経済学科 1年（中国）

「私の眼の中の日本」

13

特別賞

エルガシヨフ ホリミルザ

ERGASHOV KHOLMIRZA

日本語・日本文化研修留学生（ウズベキスタン）

「豪華絢爛な和歌山」

16

ヨウ セツ

楊 雪

教育学部 交換留学生（中国）

「和歌山での思い出」

19

ヌンニタ ラティファー アズハル

NUNNITA LATHIFAH AZHAR

日本語・日本文化研修留学生（インドネシア）

「窓から見た和歌山の景色」

22

努力賞

オウ イガ 王 怡雅 教育学部 交換留学生 (中国) 「のんびりと暮らしている」	25
ジャン シュオユイ JIANG SHUOYU 教育学部 研究生 (中国) 「山川異域、風月同天」	28
ソ ブンセイ 蘇 文静 教育学部 交換留学生 (中国) 「魅力的な和歌山」	31
ナタシャ ワンダ アリアー NATASHA WANDA ARYAND 日本語・日本文化研修留学生 (インドネシア) 「本心」	34
モウ テイイ 孟 廷威 教育学部 交換留学生 (中国) 「和歌山紀行」	37
チョウ マンマン 張 漫漫 日本語・日本文化研修留学生 (中国) 「私から見た和歌山」	40
ナヨミ シズン NAIOMI SISON 経済学部 交換留学生 (フランス) 「日本の交通」	43
リュウ ユハク 劉 育伯 経済学部 研究生 (中国) 「僕から後輩の君へ」	46

(あいうえお順)

審査員

国立大学法人和歌山大学 国際連携部門 副部門長 (審査委員長)	長友 文子
国立大学法人和歌山大学 名誉教授	永野 基綱
国立大学法人和歌山大学 国際連携部門 特任助教	松下 恵子
国立大学法人和歌山大学 日本語非常勤講師	増野 輝美
国立大学法人和歌山大学 日本語非常勤講師	嶋本 圭子

2020 和歌山大学 留学生による

第 12 回作文コンクール

～世界に、和歌山に、あなたの思いを伝えましょう！～

水のような振る舞い

イ チャンミン

日本語・日本文化研修留学生 韓国

来日以前からの日本についてのイメージは、韓国より発展している先進国というイメージだった。先進国の基準が何なのかははっきり知らないが、一般的には経済的に豊かな国を指す。しかし、日本での留學生活の間、私が驚いたのは日本の経済力より、日本人の振る舞いだった。それは、まさしく「水のような振る舞い」であった。「水のような振る舞い」とは何か。

和歌山には山が多く、小川に水が流れているのを見ることが多い。流れている水をよく観察してみると、水は重力に逆らうことなく、上から下に流れている。また、岩、木などの障害物と出会っても、抵抗せずに少しだけ方向を変えて流れていくだけだ。私は「水」と「日本人」は似ていると思う。自分と違う何かと出会っても抵抗、反発、逆らうことなどを極限にまで抑えて調和を実現する姿。その点で水と日本人は似て



画像1 「玉川」高野山・奥の院

いると思う。日本人の「水のような振る舞い」には何があるのだろうか。

バイト先に行く時の出来事だ。和歌山の自然環境を満喫するために、また運動も兼ねて、バイト先には自転車で行く場合が多かった。そして、自転車に乗って走っていると路地から本通りに出ようとしている車によって道が防げられている状況が頻りにあった。韓国でこのような状況になると、普通に自転車に乗っている人の方がその車を避けて行くのが当然だ。しかし、日本の場合は違った。十中八九、運転手さんは自転車に乗っている人に不便を感じさせないようにバックして道を開けてくれた。私はこの瞬間に今まで感じた事がない気分になった。逆に私のせいで相手がバックしてもらうことになって申し訳ない気分になってしまったのだ。私が自転車に乗ったまま、その車を避けて行く方が運転手さんがバックするより、手間がかからないと思ったからだ。自分の国でこれほどの思いやりは見たことがない。私は心からその振る舞いに感動した。

上記の内容と似ている経験は今住んでいる寮でもあった。寮にはエレベーターがあって寮を出る時や寮に戻る時に良く利用する。10階までの寮で私は3階に住んでいる。3階からエレベーターに乗って1階に降りる際には、既にエレベーターに上の階の人が乗っていることが多い。そしてエレベーターが1階に到着すると、先に乗っていた上の階の人が先に降りずに後で乗った私を待ってくれる。私はその瞬間には何も考えずに違和感だけを感じた。そして、後になって考えてみると、その違和感の正体は、二人しか乗っていないのにわざわざ私が降りることを待ちながらエレベーターのドアが閉まらないようにボタンを押してくれることだった。二人だけであつたら、私が降りることを待つより自分が先に降

りの方が時間的にもっと効率的だと思ったからだ。しかし、私はようやくその思いやりの本意が少し分かるようになった。韓国では、このような状況なら、エレベーターの外側にいる人が奥側にいる人を待たずに外側から順番に降りる場合が多い。問題はエレベーターに乗っている人数が多くなった場合だ。誰かがエレベーターのドアが閉まらないようにボタンを押してくれないと、最後に降りる人はエレベーターのドアにあたって怪我をする危険があるということだ。実際に韓国でこのような経験もあった。逆に日本は二人であっても、それ以上の大人数であっても、常に他人に対して配慮を示す。日本人はこのように日常生活での細かい部分まで繊細な思いやりがあって驚かされることが多い。誰かがやらせてから始める配慮でもない。ただ習慣的にそれを行っているだけだ。自分自身から先に相手を配慮することによって予めトラブルが起きることを防ぐ。そして、その配慮は細かい部分から始めるからこそ、日本人の「水のような振る舞い」が出来上がる。



画像 2「那智大滝（一の滝）」

日本語で話をする時も良くこのことが感じられる。日本人は日常会話で自分の主張を強く訴える場合は滅多にない。それは相手が自分と違う考え方を持っている場合、相手を困らせるかもしれないからであろう。逆に日本人と比べ、韓国人は自己主張が強いと感じる時が多い。自分の意見をはっきり言える方が良いかもしれないが、私は韓国人として日本人の「水のような振る舞い」を見習いたいと思う。どんな人と出会ってもスムーズに過ごせることが大事ではないだろうか。

日本語に良く見られる「あいづち」も同じ背景から始まったと思う。相手がどんな人間であろうとも「私は今あなたの話に耳を傾けています」ということを「あいづち」を使って相手に表している。そして、相手の話に集中していることを見せることによって相手との関係を保つことが出来るようになる。まさに、これは「水のような振る舞い」である。

しかし、韓国人の中には日本人の思いやりと話の仕方を見て、「どこまでが「本音」でどこまでが「たてまえ」なのか、ただ猫をかぶっているだけではないのか。むしろ素直な姿を見せるのが良いのではないか」と思う人さえいる。

しかし、私は「水のような振る舞い」は人間社会の一員として生きていく私たちに、必ず必要な美德だと思う。自分の話をするより相手の話を聞く。見返りを求めず、自分から先に相手に対し配慮を示す。私は来日してから半年以上経っているが、日本人の「水のような振る舞い」は日本の第一番目の魅力だと思う。火は障害物と出会ったら全てを燃やし尽くすが、水は障害物に反発せずに流れていくだけだ。また、石はその形が既に決まっていて、大きさや形が合わないと小さい器に入れることは出来ない。しかし、水は三角の器に入れても、四角の器に入れてもその形や大きさに合わせて変われる。私はこれからの人生で「火」でもなく、「石」でもない「水」のような人間になりたいのである。

Behavior Like Water

LEE CHANGMIN

Japanese Studies Student / Republic of Korea

When I came to Japan from Korea, I was surprised at Japanese 'behavior like water'. What is meant by 'behavior like water'? Water which doesn't resist gravitation flows from up to down, and flows naturally although water runs into obstacle such as rocks and trees. What are similar traits between water and Japanese? When I ride a bicycle on roads, I am sometimes blocked by a car emerging from a narrow path. Such a case in Korea, I should frequently avoid this car. But in Japan, I don't need to avoid this car because Japanese drivers go backward for me. And this is another example. When I use a lift in Korea, Koreans commonly get out of the lift earlier than other people. However in Japan, Japanese wait and press the button for the door to open. I realized that Japanese is considerate of others for realization of harmony in society. And I want to learn these Japanese 'behavior'.

물과 같은 행실

이창민

일본어 · 일본문화연수유학생 / 한국

나는 일본에 와서 일본인들의 '물과 같은 행실'에 놀랐다. '물과 같은 행실'이란 무엇인가? 물은 중력에 거스르지 않고 위에서 아래로 흐르며, 바위나 나무 같은 장애물을 만나더라도 자연스럽게 흘러갈 뿐이다. 이러한 물의 모습과 일본인의 모습은 어떠한 점에서 비슷할까? 자전거를 타고 길을 갈 때, 골목에서 나오는 차가 길을 막고 있는 경우가 간혹 있다. 한국에서는 자전거를 탄 사람이 차를 피해서 가는 경우가 많았지만 일본에서는 차에 탄 운전자가 후진을 하며 길을 터주는 경우가 많았다. 또 엘리베이터를 탈 때도 한국에서는 남이 먼저 내리는 것을 기다리지 않고 자신이 먼저 내리는 경우가 많은데, 일본에서는 둘만이 타고 있더라도 문이 닫히지 않도록 버튼을 누르고 기다려주는 것이 일반적이다. 나는 일본인의 남을 배려하는 마음(어떠한 상대와 만나더라도 '조화'를 실현하는 자세)을 배울 필요가 있다고 생각한다.

【画像 1 出典】一般社団法人高野山宿坊協会・有限会社高野山参詣講 HP「世界遺産高野山を知る」

<https://www.shukubo.net/> (2020年7月13日閲覧)

【画像 2 出典】和歌山県那智勝浦町観光協会 HP「南紀熊野 那智勝浦観光ガイド」

<https://www.nachikan.jp/> (2020年7月13日閲覧)

「幸せご飯」

ル ハ ヤン

経済学研究科経済学専攻 1年 ベトナム

私はベトナム人留学生です。ベトナムにいた頃、毎日のご飯は母が作ってくれました。しかし、そのご飯は、毎日同じようなものばかりで、時にはしょっぱすぎることもありましたが、辛すぎることもありました。私が嫌な顔をして食べたくなさそうにしていると、母は「昔は白米さえあれば、美味しいご飯だったのよ。今のあなたは贅沢な暮らしをしてるから、ご飯の大切さが分からないのよ。」と叱りました。

4年前、私は日本に来て一人暮らしを始めました。食事を作るのが苦手でした。家族と離れて寂しいだけでなく、慣れない食べ物が喉を通らないこともありました。そんな経験をした今、母の料理に対して文句を言っていた自分を後悔し、故郷でのご飯が懐かしく感じるようになりました。



日本では、食事の前に、いつも「いただきます」、そして終わったら「ごちそうさま」と言う習慣があることを日本に来て初めて知りました。ベトナムでは、食べる前も食べた後も何も言いません。ですから、このような習慣は私には全然理解できませんでした。

ある時、私は日本人の先生に「なぜ日本にはそんなマナーがあるのですか。」と尋ねたところ、先生は「それは食べ物を与えてくださった人々に対する感謝の気持ちを表す言葉なのですよ。」と教えてくださいました。そして、「日本人は相手の気持ちを大切にすることがあります。だから、食べる人が作ってくれた人に感謝するのはもちろんですが、それよりも、作った人がそれを聞くと幸せになるでしょう。」と言いました。18年間にわたって母がご飯を作ってくれたのに、母に「ありがとう」どころか、時に不平さえ言っていた私は、先生の話聞いて恥ずかしくて声も出ませんでした。そして、心から反省しました。

去年の夏休みに帰国して、母のご飯をまた食べた時、嬉しく思うと同時になぜか涙が出てきました。その日のご飯は、昔たくさん文句を言ったはずの料理なのに、今までで一番美味しいご飯だと感じました。一度家族と離れ、初めて食べた母のご飯、ありがたさが身に染みました。そして、母に「お母さん、いつもご飯を作ってくれて、ありがとう。」と言いました。すると、母は何も言わず、ただ笑っていました。その笑顔を見て、母が私の感謝の言葉を喜んでくれていると分かりました。私にとって、それは本当に幸せなご飯でした。

「幸せご飯」とは、食卓の上の料理がどうであれ、「食べて良かった」「食べて嬉しい」というようなご飯、そしてそのご飯を作った人に対する感謝の気持ちがこもっているご飯だと思います。

私は、日本に来てから、相手の気持ちを大切にするという日本人の価値観を学ぶことができました。母のご飯のように、自分のすぐ近くにある素朴な幸せの存在を大事にする心です。今まで嫌だった母のご飯、しかしそれは母が愛情を込めて、育ててくれたご飯なのです。それがどんなに貴重なものだったのか分かりました。母が作ってくれたご飯、今は本当に大好きです。お母さん、ありがとう。

皆さんにとって、「幸せご飯」はどんな「あじ」があるのでしょうか。



Happy Meal

LUU HA GIANG

Graduate School of Economics, Graduate Student / Viet Nam

When I lived in Vietnam, my mother cooked daily meals. However, sometimes it was too salty. When I didn't want to eat something, and wore an unpleasant expression. Four years ago, I came to Japan and started living alone. For the first time, Japanese people always say "itadakimasu" before meals, and "gochisosama" after meals. In Vietnam, we don't say anything before or after a meal. I couldn't understand this habit at all. I asked a Japanese teacher why Japanese people have such table manners and she said "Those words show our gratitude to those who give us food". That Japanese people respect other people's feelings, which is a common across cultures. My mother has cooked meals for 18 years but instead of saying "thank you" to my mother. When I came back home. I told my mother "Thank you, mom". Her smile made me realize that she was pleased with my words of appreciation. It was truly a happy meal.

"Happy meal" means "good food" or "happy to eat", regardless of what dishes are on the table. It is a meal eaten by those who are grateful to the person who cooked it. Now, I really love every meal cooked by my mother. Thanks mom!

So, what does "happy meal" mean to all of you?

Bữa cơm của hạnh phúc

LƯU HÀ GIANG

Khoa nghiên cứu Kinh tế học, Sinh Viên Cao Học / Việt Nam

Lúc ở Việt Nam, bữa ăn của tôi đều được mẹ chuẩn bị. Nó là những món giống nhau, đôi lúc lại mặn. Lúc đó, tôi lộ vẻ khó chịu. 4 năm trước, tôi đến Nhật và sống một mình. Ở Nhật, trước mỗi bữa cơm, lúc nào cũng nói "itadakimasu" và sau khi ăn xong là "gochisosama". Ở Việt Nam, trước và sau mỗi bữa ăn đều không nói gì. Tôi hỏi cô giáo "tại sao ở Nhật lại có tác phong như vậy ạ?", "họ muốn nói cảm ơn tới người đã nấu cho mình ăn" cô giải thích "với người Nhật, cảm xúc của đối phương rất quan trọng. Chúng ta ăn thì nên cảm ơn, người nấu được nghe cũng rất vui có phải không?" Suốt 18 năm tôi chưa bao giờ nói cảm ơn mẹ. Về Việt Nam, tôi nói cảm ơn, mẹ không nói gì mà chỉ cười, tôi hiểu mẹ thật sự rất vui. Với tôi, đó là bữa cơm hạnh phúc.

"Bữa cơm hạnh phúc" là gì? Là ăn trong hạnh phúc, vui vẻ, và tỏ lòng biết ơn đối với người nấu, đây là những giá trị chính để tạo nên một bữa cơm hoàn hảo. Khi đến Nhật, tôi học được giá trị quan của họ, đó là cảm xúc của đối phương là rất quan trọng. Tôi nhận ra, chẳng có thứ quý giá nào trên đời có thể thay thế được cơm mẹ nấu. Mẹ ơi, con cảm ơn mẹ!

Vậy, với mọi người, "bữa cơm hạnh phúc" có "vị" như thế nào?

「和歌山ってどんな所？」

ファジナル スチヤディ
経済学部経済学科 1年 インドネシア

留学生の友達に「和歌山ってどんな所？」とよく聞かれた。やはり留学生や外国人にとって、大阪や東京と比べ、和歌山はあまり有名な所ではない。和歌山は「地方」や「田舎っぽい」とよく言われた。実は和歌山に来たとき、私もそう思った。日本に来る前、「日本はモダンである」というイメージをずっと持っていた。たくさん高層ビルがあり、交通も便利であり、ドラえもんが登場するような現代的な日本のイメージだ。しかし、和歌山に来てみると、高層ビルがなく、新幹線もなく、交通も不便だ。大阪はどこでもICカードが利用できるが、和歌山市は2020年にようやく利用できる。私の持っていた日本のイメージとはまるで反対だ。

しかし、私は和歌山の魅力を見つけた。2019年5月から一週間に一回、海南市で小学生に英語を教えている。そこで私は日本の小学生に初めて会った。小学生達も英会話教室で外国人に初めて会った。第一回目の授業で、皆は緊張し過ぎて黙ってしまった。子供たちは英語が全く話せないで、私の言ったことを全然理解できなかった。また、子供たちの話す和歌山弁は、当時の私には全く理解できなかった。私は日本の生活にもう慣れたと思っていたが、言葉の壁のせいで日本人を理解するのがこんなに難しいのかと驚いた。ところが、7月になると私も子ども達もだんだん慣れてきて、授業もスムーズにできるようになった。



夏休みの前に子供たちは食事会をする予定があった。その時、「先生、一緒に行こう。」と子供たちが私を誘ってくれたのでとても感動した。つい2ヶ月前まではいつも黙っていた子供たちが、まさか食事会に誘ってくれるとは考えもしなかった。私は生徒の両親や子供たちと食事を楽しんだ。その時、急に故郷のことを思い出し、まるでインドネシアにいるような感じがした。実はインドネシアの実家では、近所の人達とよく一緒に食事をするので、故郷の雰囲気を感じたのだ。そのとき、私は生徒たちが日本人だと思わず、みんなも私を外国人だと思わずに、同じコミュニティのメンバーとして楽しい時間を過ごした。私は“ファジャル・スチャディ”個人として和歌山の人々に受け入れられ、そして、みんなが平等に接してくれているのを感じ、和歌山は第二の故郷だと思うようになった。



私にとって日本に住んでいる間で最も重要なことは生活に慣れることだ。留学で家族や友達と離れ、一人暮らしの生活をし、母語を話すことも少なくなるので、やはり悲しくて寂しい思いをしている。その悲しみや寂しさを忘れるためには、新しい友達や近所の人に受け入れられることが最も大事だと思う。大都市では人と人とのつながりが希薄になりがちで、他の人に話しかけたり、他の人から話しかけられたりすることはあまりないので、留学生は日本人の友達が作れなくなり、日本に住んでいる母国の友達や留学生同士の友達しか作れない。それは日本の生活に完全に慣れるとは言えないだろう。

和歌山は大都市ではなく、高層ビルもなく、交通は非常に不便である。しかし、留学生の私にとっては、大都市で遊ぶことよりも周りの人々に応援してもらおうほうが母国から離れていても寂しさや苦しさが癒される。それはこの和歌山でしか見つけることができない。

What Kind of Place is Wakayama?

FAJAR SETYADI

Faculty of Economics, International Student / Indonesia

I have been living in Wakayama for the past three year. Wakayama is not a big city. When people imagine living in Japan means travelling across the country with high speed train or get lost in the concrete jungle, I must be satisfied by a modest bus system and quiet environment.

Unbeknownst to everyone, I have a part time job as an English teacher. One of my class that I'm in charge of is a children class in Kainan city. The class' first meeting was my first encounter with Japanese children, and the children have never met any foreigner before me. The next 2 months were so hard for us. Fortunately, they got used to me and vice versa.

One summer day, the children invited me to the dinner with their parents. I felt welcomed and didn't feel that I'm living in a foreign country. I feel like I'm back in my hometown. This is the charm of Wakayama. The people welcome you with open arm and take you as one of their own.

Wakayama Itu Tempat Seperti Apa Ya?

FAJAR SETYADI

Fakultas Ekonomi, Mahasiswa Internasional / Indonesia

Saya sudah tinggal di Wakayama selama tiga tahun terakhir. Seperti yang Anda ketahui, Wakayama bukanlah kota besar. Orang membayangkan tinggal di Jepang seakan kita bisa bepergian dengan Shinkansen dan dikelilingi gedung tinggi. Namun, saya harus puas dengan bis sederhana dan kehidupan yang sunyi.

Saya sekarang bekerja paruh waktu sebagai pengajar Bahasa Inggris. Salah satu kelas yang saya ampu adalah kelas anak kecil di Kainan. Pertemuan pertama di kelas itu adalah pengalaman pertama saya mengajar anak kecil Jepang. Mereka belum pernah bertemu dengan orang asing. Dua bulan berikutnya amatlah sulit. Untungnya, setelah itu kami sudah saling mengerti satu sama lain.

Pada musim panas, saya diundang oleh para murid ke acara makan bersama. Dalam kesempatan itu, saya merasakan kehangatan orang-orang Wakayama. Saya tidak merasakan kalau saya tinggal di negara orang, tetapi di kampung halaman. Inilah daya tarik Wakayama.

和歌山からの優しさ

オウ ジョエン
教育学部 交換留学生 中国

今日は和歌山にきて 283 日目です。こんなに長い時間が経っても、去年の 9 月 24 日は昨日のように感じられます。その日は飛行機に乗ることが初めてで、日本に来ることも初めてでした。実は、私は外向的に見えますが、見知らぬところに行くことを恐れます。そして、日本に到着するまで自分の一年間の生活が非常に気掛かりでした。しかし、和歌山から優しさを実感して、心配や不安が取り除かれました。

留学生を日本の生活に慣れさせて、留学生の間の距離を縮めるために、WIN コンコードはさまざまな活動を準備してくれました。例えば、初めての歓迎会や 12 月の八朔狩り鍋パーティなどです。WIN コンコードのみなさんのおかげで、和歌山の温かさを感じました。歓迎会で、各国や各校の留学生と知り合っただけでなく、友達になりました。さらに、八朔狩り鍋パーティで、果樹園と農園に行き、みかんと大根を収穫したことも楽しかったです。その他には、美味しい



鍋料理を食べたり、クリスマスのためのケーキを作ったりしました。活動以外にも、車で旅行に連れて行って来て、生活面でもたくさん助けてくれました。これらは留学生活に彩りを与えてくれました。

留学生活の中で、アルバイトが多くの時間を占めました。

コンビニの同僚からお客様まで、温かさを身にしみて感じていました。私はミスばかりしていましたが、店長はいつも「大丈夫よ」と言ってくれました。初めて一人でお客様に



向かった時は、心臓がどきどきして緊張していましたが、同僚からもらったホットココアを飲んで、緊張が和らぎました。そして、冬は暗くなるのが早いので、安全のために同僚は早く退勤させてくれました。12 月 24 日には店のクリスマスギフトをもらいました。この袋の中にケーキとチキンがあるとは思いませんでした。新年にももらったお年玉も忘れられません。外国人として、ギフトをもらった時、心に深い温かさを感じました。店長と同僚だ

けでなく、お客様も優しくかったです。お客様は私の名札を見ると、いつも中国語で「加油」と言って、私を元気づけてくれました。

回転寿司屋でアルバイトをしたこともあります。寿司屋で寿司の作り方を習えることが面白かったです。恥ずかしくて日本語が上手ではないから、日本人の同僚とあまり交流しませんでした。唯一の知り合いは寿司の作り方を教えてくれた先輩でした。その日、あまりよく知らない同僚が先輩に「この人は誰？」と聞きました。先輩は「仲良しです」と言いました。「仲良しです」という言葉に、私はとても感動しました。コロナウイルスが原因で、仕事をやめなければならなかったのが、本当に悔しいです。アルバイト先の知り合いの人は私に家族の健康や故郷の状況を聞いてくれました。これらは私の心を温めてくれて、異国でも寂しさを感じませんでした。

先生も優しくしてくれました。授業の内容についてわからないことがあったら、手を取って教えてくれました。私たちの学習だけではなくて、生活にも関心を持ってしてくれます。

昔は常に日本人が冷たいと聞いていました。けれどもこの留学生生活をきっかけに、日本人はただ他人に迷惑をかけたくないだけで、他の人を喜んで助けるということがわかりました。このような温かさこそ、一年間私を支えてくれたものでした。そのため、時間が長いと思わないばかりか、「白駒の隙を過ぎるが如し」、時間が短いと感じました。感謝したい人が多すぎて、この文章が足りないと思います。和歌山で会った人に感謝して、和歌山からの優しさに心から感動しています。

The Warmth of Wakayama

Wang Shuyuan

Faculty of Education, Exchange Student / China

Today is my 283th day in Wakayama. Even after such a long period of time, September 24 last year still seems to be yesterday. Before coming to Wakayama, I was full of worries and anxiety, but only after I arrived did I realize that the previous anxiety was unnecessary. The people and things I met in Wakayama made me deeply feel the warmth, made me ignore the loneliness in the foreign country, and supported me to spend the year. I have heard that the Japanese are indifferent. When I arrived, I realized that they just did not want to trouble others, but never stung on their tenderness. Time is like a white horse, I will cherish it for the remaining 2 months. Thank you to everyone I met in Wakayama, and thank you for the warmth I felt in Wakayama.

来自和歌山的温暖

王舒媛

教育学部 交换留学生 / 中国

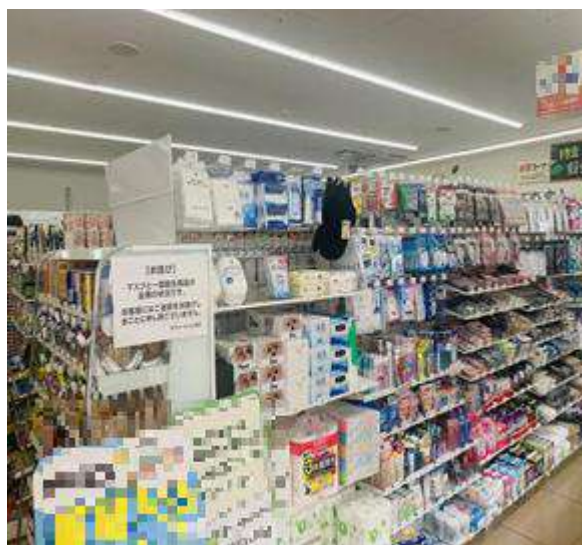
今天是我来和歌山的第 283 天。即使经过这么长的时间，去年 9 月 24 日仍犹在昨日。来和歌山前我充满了担忧和不安，但到了之后我才明白先前的不安大可不必。在和歌山遇到的人和事都让我深切感受到了温暖，让我忽视了异国的孤独，支撑着我度过了这一年。曾听闻日本人皆冷漠，来了以后才知道他们只是不愿意麻烦别人，但从不吝啬自己的温柔。时间如白驹过隙，剩下的 2 个月我会倍加珍惜。感谢在和歌山遇到的每一个人，感谢在和歌山收到的感动。

私の眼の中の日本

オウ シンケイ
経済学部経済学科 1年 中国

私は中学校の時に日本という国を知りました。私の中高一貫校では、中学三年から日本語を勉強します。その時は日本語を勉強するだけでしたが、まさか自分が日本に留学するとは思いませんでした。初めて日本に来たのは高校一年生です。その時、修学旅行で日本に行きました。七日間と短かったですが、とても強い印象が残っています。日本は礼儀を重んじる国であることに気づきました。例えば、公共の場は静かで、街も綺麗で、ゴミは種類によって分別されています。私は日本と中国の経済についてもっと勉強したいと思って留学することにしました。

日本は静かで優しい国だと思います。日本に来て印象的だったことは、人の多い公共の場所で大きな声で話している人があまりいないことです。人々はとても静かに行動しています。特に電車の中では電話に出ないというルールを守ります。大阪に旅行した時、電話に出るために、電車から降りてホームで電話をする男性を見たことがあります。その男性が周りの人に迷惑をかけないように、自主的にルールを守っているのが印象的でした。



また、日本のコンビニや売られている商品のデザインは消費者にとって非常に便利です。コンビニは生活に必要なものを販売しています。例えば、化粧品や殺虫剤、医療用の応急品などがありますが、これらは私の国のコンビニにはありません。その他にも客が食事をしたり、休憩したりする場所を提供しています。そして、コンビニごとに必ずトイレがあるので、誰でも必要な時に利用することができます。販売されている商品のデザインも実用的です。例えばプリンケースの底に皿に落としやすいツマミがあります。インスタントラーメンの薬味袋も開けやすいように設計されているので、袋の口を大きく破る必要もなく、中身を出すことができます。

さらに、日本は環境がとてもいいです。私が気づいたのはゴミの処理方法です。日本ではゴミの分別はとても厳しく、ゴミは種類によって分類されていて、生活ゴミ、プラスチックゴミ、そして回収できる瓶や缶、段ボールに分けられています。これは長い間続いています。ゴミの回収時間は地域によって違いますが、皆がまじめに守っています。もう一つは、街や商店街にはゴミ箱が設置されていませんが、道にゴミが落ちていません。この点も私は深く印象に残っています。

日本で暮らしているうちに、日本人は他人に迷惑をかけない精神を持っていることがだんだん分かってきました。商品のデザイン、公共施設、交通規則、生活規則など、すべては他人に迷惑をかけない精神を表していると思います。すべての人が規則を守り、秩序を維持してこそ、このような日本ができたのだと思います。



Japan in my eyes

WANG XINHUI

Faculty of Economics, International Student / China

I got to know Japan from junior high school. The social phenomenon of not causing trouble to others attracted me. I decided to study in Japan.

I think Japan is a quiet and disciplined country. My biggest feeling when I came to Japan is that everyone is very quiet in public. In order not to cause trouble to the people around me, I consciously abide by the rules, which left a deep impression on me.

Japan's commodity design and public facilities are very convenient for national life. And the environment in Japan is very good. I am more concerned about garbage disposal. In Japan, garbage will be classified according to different properties, which has lasted for a long time. There is also a point, although the market, the road will not be set up trash, but the road will not see garbage. This also left a deep impression on me.

I have been living in Japan for some time, during which I gradually learned that the Japanese have the spirit of not causing trouble to others. All the commodity design, public facilities, traffic rules, life rules and so on that I see are not disturbing others at all. I think it's because everyone abides by the rules and maintains order that this kind of Japan came into being.

我眼中的日本

王新慧

经济学部 经济学科 / 中国

我是从初中开始了解日本这个国家的。不给他人添麻烦的这种社会现象吸引着我，我决定来日本留学。

我认为日本是很安静，有纪律的国家。我来到日本最大的感触是在公共场合每个人都很安静的进行自己的事情，为了不给周围的人带来困扰，很自觉的遵守规则，这给我留下很深的印象。

日本的商品设计以及公共设施都很便利于国民生活。而且日本的环境很好。我比较在意的点是垃圾处理上，在日本垃圾会按照不同性质去分类，这已经延续很长时间了。还有一点，虽然商场，道路上不会设置垃圾箱，但是马路上也不会看见垃圾。这点也是给我留下很深的印象。

我已经在日本生活一段时间了，在这段时间里我慢慢了解到，日本人本身具有的不给他人造成困扰的精神。我看到的一切的商品设计，公共设施，以及交通规则，生活规则等这一切的根本都是不给他人造成困扰。我认为是每个人都遵守规则，维持秩序才形成了这样的日本。

豪華絢爛な和歌山

エルガショフ ホリミルザ

日本語・日本文化研修留学生 ウズベキスタン

和歌山。日本の自然に恵まれている名所。大阪のすぐ下に位置しているこの県はみかんやかきでも有名だ。世界遺産の高野山、熊野古道や那智の滝、白浜、串本などでもよく知られている。さらに、和歌山弁という方言もある。

母国ウズベキスタンを立ち、10時間後にやっと関西空港についた。和歌山大学前ゆき電車に乗った時から、和歌山での日研生としての留学生活が始まった。

車内にいる3人の日本人の会話が私の耳にはいつてきたが、中々聞き取れなかった。一度も聞いたことがないその日本語を聞いて私はとても悲しかった。

日本に始めてきて、緊張とうれしさと悲しさが混じり、落ち着くことができなかった。そんな複雑な感情の中、「僕は三年間何を勉強したのか？ 3年間学んだことは役に立っていないのかな？」と自分に質問しながらずっと考えていた。

大学の近くの私が住む寮について、そこで会った和歌山大学生達に説明してもらった。私が聞いたその日本語は関西弁で、和歌山県での和歌山弁は大阪弁よりも強いということが分かって、方言の力を感じ始めた。

最初は非常に驚いたが、時間が経つと少しずつ和歌山弁が理解できるようになって、私自身も使い始めるようになった。

大学生達が話しているのを聞いていると「昨日会議やったって」、「そうなんやん」、「なんでやねん」、「せやな」などがよく出てくるやろう。バイト先でも話が色々で、和歌山弁が当たり前頻りに使用されている。「たばこちょうだい」、「間違ってあかんよ」、「彼はまだおらん」のような表現は普通の日常会話で使われている。おもしろいなー。

和歌山弁はかっこよく、ほとんどの他府県の人でもそう思っていると私は思う。

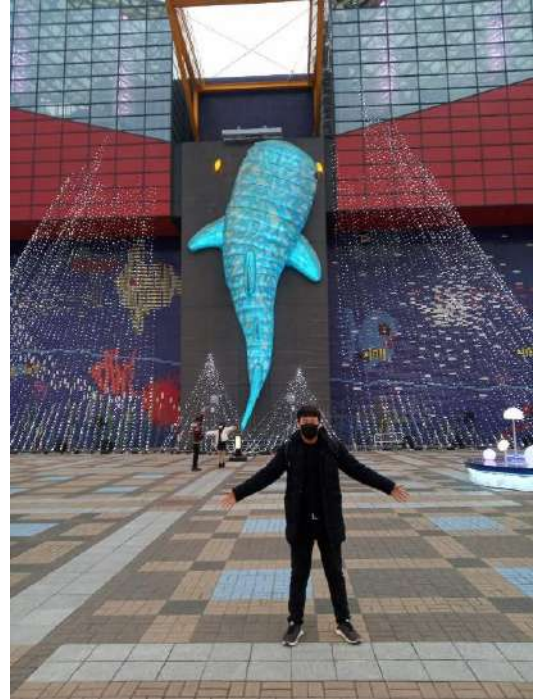
時々、他の地域の方々は関西人と話すとき、聞き取れないことがあるそうだ。方言にはその地域の特徴や人柄が反映するとよく聞く。関西の人達はとても優しいと言われるのも方言と関係あるのだろう。日本に来て、もうかなり時間が過ぎ、関西、和歌山弁のすばらしさが理解できたように思う。

方言は日本の貴重な文化だということが分かった。

誰がどう考えるか僕は構わへん。しかし、私見では和歌山の魅力は和歌山弁だ。

帰国して、和歌山弁や自然に恵まれた和歌山と和歌山の人々について、後輩たちに自慢できることを沢山学んだ。

和歌山で一生忘れられない思い出が数多くあって、めっちゃ楽しかった。和歌山で過ごした1年間の留学生活は、誰にでもできるわけじゃない体験や経験に富んでいて、私は一生忘れることができない。



Wonderful Wakayama

Ergashov Kholmira
Japanese Studies Student / Uzbekistan

Wakayama prefecture is one of the strongest dialects in Japan and Kansai region. Although the Wakayama dialect is part of the Kansai dialect, it is considered to be the strongest and toughest among these regions. When I came to study, I didn't understand to hear that people talking in that dialect. People who speak Kansai and Wakayama dialect, that is, people who live in this area, are considered kinder than people who live in other parts of Japan, and the respect for the dialect is also high. Nature, mandarin, peach and date of Wakayama are very tasty. Also, plenty of places are located there which submitted to UNESCO World Heritage Sites. But, in my opinion, the most unique thing of Wakayama is its dialect!

Ajoyib Wakayama

Ergashov Xolmirza
Yapon tili va yapon madaniyati tadqiqotchi talabasi / O'zbekiston

Vakayama viloyati Yaponiyadagi va Kansai hududidagi eng kuchli shevalardan biri hisoblanadi. Vakayama shevasi Kansai shevasi tarkibiga kirsa ham, ushbu hududlar orasidagi eng kuchli va qiyini deb hisoblanadi. Men ham o'qishga kelganimda, odamlarning ushbu shevada gapirayotganini eshitib, umuman chunmaganman. Kansai va Vakayama shevasida gapiradigan, ya'ni shu hududda yashaydigan insonlar Yaponiyaning boshqa hududida yashaydigan odamlarga qaraganda mehribonroq hisoblanadi va shevaning hurmati ham balanddir. Vakayamaning tabiati, mandarin, shaftoi va xurmosi juda ham mazali. Shuningdek, ko'plab UNESCO tarkibiga kiritilgan joylar joylashgan. Biroq, Vakayamaning eng o'ziga xos jihati bu uning shevasi deb hisoblayman!

和歌山での思い出

ヨウ セツ

教育学部 交換留学生 中国

日本に来る前イメージしていた和歌山は名前が美しい地域で、標高が高くて小さな山村かなと思っていたのですが、県の名前をつけた大学があるなら、周囲はたぶんにぎやかで中国の大学のある地域のような感じで大丈夫きっと大丈夫だろうと思っていました。私はそんな几帳面な性格ではなく、あまり細かいことを気にしないので、和歌山に関する資料を詳しく調べてみることもしませんでした。



日本に来た初日、環境になじめずスーツケースを押して1時間ぐらいかかって寮に行って、ここが本当に山だと驚きました。スーツケースを押しながら宿舎に向かう道ではほとんど人を見かけませんでした。中国の高い人口密度と違って、ここは本当に広々とした感じがしました。寮に行く途中に丘だったり小さな川だったりが見えて、環境全体が自然で静かな感じがしました。その時、なぜ来る前に資料を調べなかったのかと後悔しました。あの日、寝室に着いてからは、床に倒れ込んで、まったく動かたくなかったのを覚えています。

学期が始まってから、初めて学校に行くのも大変でした。バスという選択肢はありますが、まだ日本の物価に適應していない貧しい留学生の私たちにとって、バス代も高いです。そのためみんなは黙々と学校へ歩いて行くことを選びました。しかし、30分も歩かなければならなくて、その3分の2は山登りだとは思いませんでした。登校中はみんな泣き笑いして、お金を節約して体を鍛えていると言って自分を慰めました。

休みの日にクラスメートと観光に行きました。和歌山の黒潮市場に行って、「このような観光スポットには観光客が多いが、やはり中国の観光スポットに比べて少ない」と感じました。中国の観光スポットの最大の欠点は人が多すぎることです。観光客があまり多くなければ、「にぎやか」ではなく「落ち着いた雰囲気」を感じられます。観光客が多ければ、観光スポットの風景を楽しむのではなく人間観察になってしまいます。和歌山の観光スポットは、人が少ないので景色をちゃんと観賞できます。私はこの観光客が少なく、「落ち着いた雰囲気」を感じられることも素晴らしいと思いました。



ですが、アルバイトを始めてから、それまでの「和歌山は人が少ない」という考えがあまりにも一方的だったことに気づきました。コンビニでアルバイトをしていると平均10分

おきにお客さんが買い物にくるのですが、飲食店でアルバイトをしていると、昼食の時間や夕食の時間が非常に忙しくなって、その度に「そんなに多くのお客さんがどこから出てくるのか、普段はこれだけの人を見ないのに」と思って、大変でした。ですがアルバイト先の先輩たちはみんないい人で、私たち留学生の世話もしてくれて感動しました。

あと二ヶ月もしないうちに和歌山とお別れをすることになりましたが、一年というのは長くも短くもないですし、和歌山で経験したユニークな経験、国にいるときとは違う経験は、私にとってとても貴重な思い出になるでしょう。

Memories of Wakayama

Yang Xue

Faculty of Education, Exchange Student / China

Before I came to Japan, I imagined that Wakayama was a beautiful area with a very beautiful name. I thought it was a small mountain village with a high altitude.

The first day I came to Japan, because of not adapting to the environment, surprised to find that it is really a mountain here. Different from the high population density in China, I feel the whole environment is very natural and quiet. The first time to go to school is also very hard. On the rest day, I went to the Kuroshio Market with my classmates. After I started working, the restaurant which I work at, at lunchtime and dinnertime become very busy. The work spot's predecessors are good people, take care of our foreign students, I'm moved.

After two months, I will say good-bye to Wakayama, a year is not long or short, but the unique experience in Wakayama, for me is a very precious memory.

和歌山的回忆

楊雪

教育学部 交換留学生 / 中国

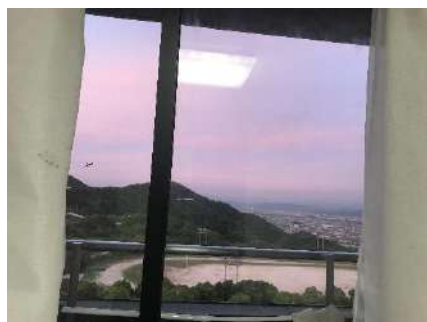
来日本之前想象中的和歌山是一个名字很美的地区，原以为是一个海拔高的小山村，但我想如果有一所以县名来命名的大学的话，可能会像中国的大学一样周围大概会很热闹，应该没问题。

来到日本的第一天，由于不适应环境，惊讶地发现这里真的是山。在去宿舍的途中，可以看到山丘或小河，与中国的高人口密度不同，感觉整个环境都很自然，很安静。开学以后，虽然有巴士，但是对于还没有适应日本物价的贫穷留学生来说，巴士费用也很高。所以大家默默地选择了走去学校。休息日和同学们一起去黑潮市场，这样的景点虽然有很多游客，但是和中国的景点相比还是不多，中国景点最大的缺点就是人太多了。开始打工以后，我发现以前我的想法过于片面。打工店里的前辈们都是好人，很照顾我们留学生，让人感动。

再过两个月就要和和歌山说再见了，一年不长也不短，但在和歌山经历的独特的经验对我来说是非常珍贵的回忆。

窓から見た和歌山の景色

ヌンニタ ラティファー アズハル
日本語・日本文化研修留学生 インドネシア



和歌山の印象を聞かれたら、自然に恵まれている魅力的な景色があるところだと答えます。それはここに来た他の留学生と同じような答えだと思います。何回も、自分が無意識に部屋の窓から夕暮れの空を眺めているのに気づきました。まるで、自然には魔法の力があり、私の魂を捕まえているかのようです。私は十階にある部屋の窓から見ている和歌山の景色の虜になってしまいました。

このまま時間が止まって永遠に過ごしたいと思うほど恋をしてしまいました。しかし、新型コロナウイルスの影響で状況が変わって、緊急事態が宣言されました。隔離授業が始まり、自分の部屋に引きこもっています。それ以来、あることが前からずっと変わらないことに気づくようになりました。

淋しいです。

淋しいというのは、よほど綺麗な景色に惚れてしまった私はどうして淋しいと感じたのでしょうか。皮肉なことです。恋をしている人は淋しさなどを感じないと思います。それを思うと私はかなり運がよかったほうです。和歌山の景色の虜になってしまう機会がありませんからです。それなのに、どうして淋しく感じているのでしょうか。

人間の感情は大変複雑で理解し難いものだと分かってきた私は、自分の淋しさを理解できるように、絵画に描いてみました。絵画の中に座っている猫が見えますか。私は目が見えて座っている猫を描きましたが、その猫は盲目のように周辺にある感動させるほどの美しい景色を見ないふりをしています。折角その周辺にある景色を見えることに感謝もせず食欲な猫で、ただ遠くにある小さな赤い門を淋しい眼差しで見えています。その門をみて、「淋しいから、今の状況を変えてくれ」となにもしないで、永遠にないものを願い続けています。そうです。私も、その猫と同じく、今の淋しい状況を何とか変えたいと願っています。



毎回、部屋の窓から和歌山の景色を見て、感情が溢れるほど無茶苦茶になりました。淋しくて、景色の美しさをほとんど見ないようになりました。空しい愛情でした。和歌山の夕暮れの景色に恋をしてしまったのに、まだ物足りないと感じました。空しい愛情は、今

貪欲という罪悪感も混じっています。なぜかというと、今私が見ている景色を見ない大学生が大勢いるかもしれないという思いがあります。私のように、奨学金をもらいたいとおもうインドネシアの大学生が全力で努力したにもかかわらず、能力がない私にその機会を奪われてしまいました。奪ったにもかかわらず、私は感謝などをせずに淋しさを感じています。また、今の状況では、インドネシアは日本に比較すれば医療があまりに進化していないので、インドネシアにいる人々が私よりもはるかに不安を抱いているのだらうと思います。しかし、私は和歌山で最高に安全に暮らしています。その不安を比べると、私は一人暮らしをしているだけで淋しく思うのはとんでもないことです。

そうか。淋しさを感じているのは、自分が今の幸運をよく感謝をしていないことからくる罪悪感が原因だから、自分が楽しく日々を過ごせるようにしようと決めました。楽しく過ごせば、自分の充分幸せな人生に感謝を感じられると思いました。だから、飽きちゃうほど一人で必死に楽しいことを探していました。楽しく日々を過ごしたいなら、自分でその楽しさを手に入れればいいと思います。しかし結局、状況に変化がないことに、楽しいことは見つからず、「これ以上何が欲しいの」と不満ばかりで、自分が窓から見ていた景色も嫌いになりました。自分の淋しさを思い出させた景色は、まるで別れた恋人の面影を見ているかのようで、完全に無視するようになったのです。私みたいな貪欲な人なんて、このような贅沢な生活を享受できるはずはありません。

しかし、どうして私は淋しさを感じているだけでこんなに恥ずかしく思うのだろうか。何事でも喜怒哀楽の感情とは人間の一部だと分かってきました。自分の感情を無視できるものではない、それに、何も感じていないほうが人間ではありません。なぜか私は新型コロナウイルスの影響で大変な状況でも、海外の一人暮らしで遅く日々を過ごせるのに、淋しさを感じているだけでは恥ずかしくて、不正行為を犯してしまったかのように重く反省しているのでしょうか。

私は気づかずに、自分を他の人の状況と比べまくりました。窓からの美しい和歌山の景色を見るだけで、私はどんなに他の人のことを心配しているのかが理解できました。他の人の事を心配する心を持つ人は、貪欲な人にはならないと思います。私はただ、皆が平等に幸せな人生を送れる世界を作りたいという理想的な考えを持っています。しかし自分の淋しさという感情を認めないほうが、恥ずかしく思うはずです。窓から見た和歌山の景色は、自分の淋しさを知らせてくれる記憶になりました。しかし、そのような景色は、私だけが知っている景色でした。

前よりもう少しだけ素直に生きたいと想うようになり、気づいたら私は窓から見た和歌山の景色がさらに愛しく想うようになりました。

Wakayama view that I saw from my window

NUNNITA LATHIFAH AZHAR
Japanese Studies Student / Indonesia

I found myself that I have fall in love with Wakayama prefecture view that I always saw from window of my room, which is located in the ten floor s of building, but I still found myself being lonely. And what is worst is, I do not know whyi was feeling lonely.

So I try to express it in a picture that I draw. Can you see cat in there? I drew a cat, with two eyes opened but wont see the beautifulness of scenery around it.looking at a red gate wanting to change the situation in loneliness. That cat is me.

And I felt embrassed, knowing that there is so many students in Indonesia that want to get scholarship program just like me. But here I am,feeling alone and not being grateful. So I was trying my best to enjoy my life but I am unable to do that, and I became so frustrated. I have come to realised the reason I became so frustrated is because of I cared about others too much, and that feeling would not make you to become a greedy person.

I'm just having an ideal thought about wanting a world that everybody can live with happiness, an again, the view of wakayama making me remember what kind of a person I am.

I want to live a more sincerer life and I found myself in love with the scenery more than ever.

Pemandangan Wakayama yang saya lihat dari jendela

NUNNITA LATHIFAH AZHAR
Mahasiswa Studi Jepang / Indonesia

Saya jatuh cinta, saya berharap untuk bisa terus hidup melihat pemandangan yang sama. Akan tetapi, seiring dengan kondisi yang berubah saya menyadari satu hal.

Saya kesepian. Kesepian.

Saya begitu serakah karena saya dapat menikmati pemandangan senja, akan tetapi saya masih merasa kekurangan Saya bertanya dengan frustasi 'mengapa saya merasa kesepian?' dan mulai membenci pemandangan wakayama yang saya lihat dari jendela. Pemandangan yang mengingatkan saya akan kesepian saya.

Akan tetapi, Kenapa saya harus merasa bersalah terhadap rasa kesepian yang datang ketika saya bahkan tidak ragu untuk melewati masa genting seperti sekarang?. Pemandangan yang saya lihat dari jendela, pemandangan yang tercemari dengan rasa sepi. Akan tetapi pemandangan seperti itulah yang saya dan hanya saya lihat.

Saya berjanji tidak akan membohongi diri saya lagi, dan Ketika saya sadari saya semakin jatuh cinta kepada langit senja dari balik jendela.

のんびりと暮している

オウ イガ
教育学部 交換留学生 中国

和歌山に来るまえに、私は、「和歌山」という地名に心を寄せていた。日本の和歌は、外国人にとって理解するのが難しいが、それでも、和歌は中国でもよく知られている。私は、日本人が作った恋歌に興味を持っている。恋歌は、和歌のなかでもひとときを輝きを示している。英語の” I love you.” を、夏目漱石が「今夜の月はきれいですね」と訳したという話は中国の若者の間でよく知られている。私には、赤坂真理の「あたし、あなたにさわりたい」という訳も気になる。しおらしいアジア人である私達は、言いたいことを直接的には言わない。和歌の恋歌には、日本語の独特な魅力が感じられる。もちろん、恋歌だけではなく、和歌にはさまざまなものやことが詠まれてきた。和歌は、まさに、豊かな森である。

和歌山は、古来より、数多くの歌に詠まれた土地である。そのために、私は「和歌山は文化的な雰囲気にもまれて浪漫的な町だろう」という考えを持っていた。

ところが、日本に来てもう8ヶ月になったが、私は、和歌山といえば、ロマンチックな町と言うより、のんびりと暮らせる町と言ったほうが良いと感じている。

母国の大学で受けた日本語の授業で、日本人の生活習慣を少し勉強した。日本人は計画することが好きだと聞いた。いい計画を立てると、じっくりやりたいことをやり遂げられるという話は中国にもあるが、母国の大学の学習生活に比べると、和歌山大学の学習生活のほうが、その点がよりはっきりしていると思う。先生は授業を進める予定表を作ってくれる。自分が好きな授業が選べ、より多くの時間を自分の好きなことに投入できる。だから、私は毎日のんびりと暮しがながら、充実した生活を送っている。

その上、和歌山は自然に恵まれており、緑にもまれている。人々や動物の生き生きとした生活が感じられる町である。和歌山大学には何匹も猫がいて、いつものんびりと日向ぼっこしながら居眠りをしている。私は前学期、毎日学校に行って猫ちゃんを探して触って満足した。和大学の学生は猫ちゃんに餌をやり、水も用意している。水の容器には、「ねこねこ」という字が書いてある。私はそれを見て、和大学の学生たちの優しさを感じた。



また、ある日、自転車で友たちと買い物に行き、マンションに帰る途中で、ハトに囲まれた。ハトは人を見ても、飛んで逃げないということを知ってびっくりした。太っているハトは私達のすぐそばを行ったり来たりと、暢気に構えていた。



和歌山というところでは、人々のみならず、猫や鳥などの動物も、毎日のんびりと暮している。和歌山は学習したり生活したりするのにすばらしいところだと思っている。

Live Leisurely

Wang Yiya

Faculty of Education, Exchange Student/China

Before coming to Japan, I had a good impression of the place name "Wakayama". Japanese Waka is also famous in China. It includes many things, like a dense forest. Among them, the love song is particularly shining. I am very interested in the love songs made by the Japanese. A restrained Asian speaks very implicitly. But from those words, I can feel the unique charm of Japanese.

Since ancient times, Wakayama has spawned many singers, so I used to think that Wakayama City is a city with a deep cultural heritage and romantic, but after coming to Japan for eight months, I found that Wakayama is a city with a leisurely life. It was known that Japanese people have a good plan to do things, so they do not panic. Compared with studying in China, the life of Wakayama University students is more pure. I am leisurely every day, but also very fulfilling.

Wakayama has beautiful natural scenery and is suitable for life. The cat inside is always basking in the sun lazily. The pigeons I met in Wakayama were fat and bold. I feel that they are also very leisurely.

Wakayama is really a place suitable for studying and living!

悠闲地生活着

王怡雅

教育学部 交换留学生 / 中国

来日本之前，我就对“和歌山”这一地名抱有好感，日本和歌在中国也非常有名，其咏唱着许多的东西，就像的森林。在其中格外闪闪发光的是恋歌。我对于日本人所作的恋歌很感兴趣。但，对于外国人来说，日本和歌很难读懂。内敛的亚洲人说话总是很含蓄。但我从那些话语中，能感受到日语的独特魅力。

从古至今，和歌山孕育了许多歌人，所以我之前认为和歌山市一座具有很深文化底蕴且浪漫的城市，但来日本八个月后，我发现与其说和歌山是浪漫的，不如说它是适合悠闲生活的城市。日本人做事很有规划且不慌不忙。与在国内的学习生活相比，和歌山大学的学生生活更加的纯粹。所以我每天都很悠闲，却也很充实。

和歌山自然风光优美，适合生活。和大里面的猫总是懒洋洋地晒着太阳，在和歌山遇到的鸽子又胖又胆大。感觉它们也很悠闲。

和歌山真是一个适合学习和生活的地方啊！

山川異域，風月同天

ジャン シュオユイ
教育学部 研究生

2019年12月、中国の武漢で新型コロナウイルスが爆発しました。僅か二ヶ月で、中国人民は大変な状況に陥りました。今回のウイルスの猛威は、2002年の新型肺炎より恐ろしく、すさまじい伝播速度、すさまじい致死率で、国全体と世界全体を危機に陥れています。それに伴って、医療用品が少なくなり、マスクが品切れになり、都市が封鎖され、人々が自粛することになりました。私は、その前から日本に留学しています。母国の家族のことが心配ですが、同時に、日本の人々、和歌山の人々の温かさも感じていました。

新型肺炎の発生以来、日本政府と社会の各界は次から次へと援助の手を差し伸べて、様々な仕方で中国の疫病との闘いを支援しました。そのことに、私は非常に感動させられました。中日は一衣帯水の友好的な近隣であり、疫病を前にしてさらに固く結ばれた運命共同体です。中国駐日大使館によると、2月7日までに、日本国内各界は保護マスクを633.8万個余り、手袋104.7万枚余り、防護服と隔離服を17.9万セット以上、ゴーグル7.8万個余り、大型CT検査設備1台（価格300万円）、体温計1.6万個以上、及び保護帽、靴カバー、防護靴、消毒靴、消毒靴用品など、累計募金額は約3060.2万人民元を中国に送りました。二階俊博氏は中国の駐日大使と会見し、日本側は全国の力を挙げ、全力を尽くして中国側に援助を提供し、中国側と共に疫病に立ち向かうと表明しました。日本政府と日本人民の友情は中国人民の心に感謝とともに心に深く刻まれました。



画像1：HSK日本事務局から湖北省へ寄贈する支援



画像2：和歌山県庁から山東省へ寄贈する支援

和歌山県と中国の山東省は1984年4月18日に友好関係を結びました。和歌山に留学している私は和歌山外国語専門学校で武漢や山東省を応援するビデオの録画に参加しました。日本の人々が私たちに力を与えてくれていることを感じました。もっと信頼しあえば今回のウイルスに打ち勝つことができます。

日本はコロナウイルスを防止する重要な時期に入りました。中国と同じように、さらに厳しい挑戦に直面しています。そこで今度は、中国政府が、日本に5000セットの防護服と

10万枚のマスクを寄付しました。最初の物資はすでに2月27日、28日に東京に到着しました。多くの中国地方の省と市、企業と個人も積極的に行動して、日本に寄付をし、日本のために応援しています。

日本から中国に渡った留学僧が、鑑真和上に「山川異域風月同天」という言葉を使って、来日を切々と訴えた時、和上は「山川異域 風月同天 奇諸仏子 共結来縁」、という言葉を持って日本行きを決意されたそうです。日本語にすると、「中国と日本には同じ山川はない、しかしながら風と月も同じものだ。まことにこれ仏法興隆に、有縁の国だ」という意味になります。今回の疫病は非情ですが、でも一衣帯水の両国がお互いにより信頼し合い、2020年の中日関係が新たな時代に向かう重要なきっかけになったとも言えます。今回の疫病の渦中で、中日両国の国民は共に難関を乗り越えるとともに、両国の関係が緊密になっています。私は疫病が早く過ぎ、中日の経済交流と文化交流が急速に発展することを望みます。留学生として私も両国の交流に貢献したいと思います。



画像3：「がんばれ武漢」新型コロナウイルス、大阪。道頓堀に応援バナー

出典：

【画像1】AFP BB NEWS／Xinhua News／2020年2月12日20:21配信／
<https://www.afpbb.com/articles/-/3267949> (2020年7月13日閲覧)

【画像2】日本大力驰援中国并非偶然，中日双方守望互助、携手抗疫！／2020年2月23日配信／
<https://www.6parkbbs.com/index.php?app=index&act=view&cid=1252685> (2020年7月13日閲覧)

【画像3】産経新聞／THE SANKEI NEWS／2020年2月8日16:22配信
<https://www.sankei.com/life/news/200208/lif2002080026-n1.html> (2020年7月13日閲覧)

Even though the landscapes are diverse, we share the wind and moon under the same sky.

Jiang Shuoyu

Faculty of Education, Research Student / China

Novel coronavirus broke out in China in December 2019. Chinese people were in deep water in just two months. The virus came suddenly and violently, which was more terrible than SARS in 2002. Its amazing spreading speed and terrible death rate made the whole country and even the whole world fall into crisis. Accompanied by the scarcity of medical supplies, the shortage of masks, even the closure of Wuhan, the whole Chinese people are at home. During this period, I studied in Japan, not only worried about the tension of my family, but also felt the warmth of the Japanese people and the people of Wakayama.

The mountains and rivers are different, the wind and the moon are the same. Although the epidemic is merciless, it makes two countries with water in one belt trust each other more. 2020 is a very important year. I sincerely hope that the two countries will become closer and support each other, and make the economic development and cultural exchanges between the two countries closer and closer.

山川异域，风月同天

姜铄宇

教育学部 研究生 / 中国

2019年12月，中国武汉爆发了新型冠状病毒，短短的两个半月内，中国人民陷入到水深火热之中。这次病毒来的突然，来的猛烈，比2002年的非典更加可怕，惊人的传播速度，可怕的致死率，让整个国家乃至整个世界都陷入到危机之中。伴随而来的是医疗用品稀缺，口罩断货，甚至武汉封城，全中国人民都居家自肃。这段时间我在日本留学，既有担心国内家人的紧张情绪，也感受到了日本人民，和歌山人民的温情。

和歌山县和中国的山东省在1984年4月18日缔结了友好关系，那时我在和歌山外国语专门学校还亲身参与到了为武汉为山东加油的视频录制中，我感受到了日本人民给予我们的力量，让我们更有信心战胜这次的病毒。近期中国政府还将分批次向日本捐赠5000套防护服和10万只口罩，其中前两批物资已于2月27日、28日运抵东京。很多中国地方省市、企业和个人也在积极行动，向日本捐款捐物，为日本加油打气。

山川异域，风月同天，这次疫情虽然无情，但是却让两个一衣带水的国家更加信任彼此，2020是很重要的一年，衷心的希望两个国家越来越紧密，相互支持，让两个国家的经济发展文化交流越来越密切。

魅力的な和歌山

ソ ブンセイ
教育学部 交換留学生 中国

「和歌山」という名前を初めて聞いたとき、非常に美しい名前だと思いました。実際に来てみると、思っていたよりさらに美しいところに気がつきました。自然の景色といい街の雰囲気といい最高です。にぎやかな都市とちがって、和歌山だけあつての趣があります。それに人間的に温かい感じのするところです。

私は浙江師範大学の交換留学生として2019年9月に和歌山に来ました。「和歌山は自然に恵まれている」という話はいつも中国で耳にしていました。初めて和歌山に来た日、緑に溢れた自然を見て「さすが和歌山だな」と感動しました。山々がつながっており、木が密生しています。また、カラスなどの鳥がうれしそうに鳴いて自由に飛んでいます。

和歌山に来た日はとても暑かったです。私も一緒に来た他の交換留学生たちも、和歌山大学前駅から留学生の寮までの道がよくわかりませんでした。みんなそれぞれ二つの大きな荷物を持って坂道を登ったり、降りたりするのは本当に大変で、やっとの思いで和歌山大学に着きました。しかし、留学生の寮は山の下にあり、和歌山大学から遠いのだと後で気づき、大学からバスに乗って寮へ行きました。全員くたくたになりました。

和歌山で生活するうちに、人間的に温かい雰囲気があることに気がつきました。町で買い物をしているとき、店員はいつも笑顔で礼儀正しいです。アルバイト先のコンビニでは、一緒に働いている同僚がいつも私に気を遣ってくれました。私が外国人だからといつも気にかけてくれ、積極的に手伝ってくれました。何か困ったことがあっても、同僚に聞くとすぐに丁寧に教えてくれました。同僚だけでなくお客様も優しいです。私が仕事に慣れていなくて時間がかかっても、お客様は待ってくれて、さらに励ましてくれました。また、クリスマスには上司がケーキとチキンを贈ってくれました。プレゼントをもらったとき、私は幸せで心がいっぱいになりました。家に帰り友達と一緒にケーキとチキンを食べて、生まれて初めてクリスマスらしい日を過ごしました。

それから、和歌山はにぎやかな都市とは違って特有の静けさがあるので、ゆっくりと静かに過ごすことのできる場所だと思います。町の人々がのんびりと暮らしているのを見ると、私も心が落ち着きます。毎日静かで大きな騒音がありません。鳥のさえずりや花々が香る中で、一人で本を読んだり、勉強したりしています。騒がしい世間から離れた環境で悩みや憂鬱などを忘れることができます。このようにゆったりとした気持ちで過ごせる場所は、和歌山だけだと思います。

私は和歌山に来てからずっと和歌山の魅力に惹きつけられています。



Charming Wakayama

Su Wenjing

Faculty of Education, Exchange Student/China

This article mainly describes my feelings about Wakayama: the hardships on my first day in Wakayama, my feelings about the natural environment of Wakayama, and the human touch of Wakayama after living in Wakayama.

The first day I came to Wakayama, I felt the natural scenery of Wakayama is very beautiful, there are many mountains and trees, many crows fly freely, many birds are not afraid of people. In our school there are nine people who came to Wakayama, each with two big suitcases, very hard to climb the mountain. As a stranger, I went to Wakayama University, but Apartment is at the foot of Wakayama University, which is a little far away. So I took a bus and felt tired after arriving at the apartment.

Wakayama has a human touch. When shopping at a convenience store, the staff always smile. When I went to work, My colleagues and customers who came to buy things were very friendly. When in trouble, colleagues offer to help immediately. The guests will be very considerate when they know I am not Japanese. The boss was also very nice. On Christmas day, he bought cake and drumsticks for every employee.

Wakayama's charm is moving.

充满魅力的和歌山

苏文静

教育学部 交换留学生 / 中国

这篇文章主要写了我对和歌山的感受：第一天来和歌山时的艰辛，对和歌山自然环境的感受，以及在和歌山生活后体会到的和歌山的人情味。

来和歌山的第一天，感受到和歌山的自然风光很美，有许多山和树，很多乌鸦自由自在飞，许多鸟都不怕人。我们学校起来的人有9个人，每个人带着两个大行李箱，爬山的时候很辛苦。人生地不熟，千辛万苦到了和歌山大学，但丸桥公寓在和歌山大学的山脚下，距离有些远，就做了公交车，到达公寓后很疲惫。

和歌山很有人情味。平常在便利店买东西时，服务人员都会面带笑容讲话。去打工的时候，身边的同事和来买东西的客人都非常有亲和力。遇到困难时，同事立马主动过来帮忙。客人知道我不是日本人，犯一些错误时他们会很体谅。老板也很好，在圣诞节，给每个员工买了蛋糕和鸡腿，回来后和同学一起吃了蛋糕，过了一个有史以来最有仪式感的圣诞节。

和歌山的魅力让人感动。

本心

ナタシャ ワンダ アリアー
日本語・日本文化研修留学生 インドネシア

私の「心」の絵がついた本は靴の中に眠ります。そして夜になったらその本が起きて、無邪気な目で私を見つめています。それは、小学校のころの友人たちが描かれている本です。

小学生の私の趣味は絵を描くことでした。授業中でも、昼休みの時でもいつも一人だけの世界をペンで描いていました。そんな私のために日本の漫画が好きなおばちゃんが「ドラえもん」という漫画をくれました。あれは古くて、傷んでいる一冊だけれど、私にとってはかけがえのない宝物になりました。気づいたら本の後ろやページの余白に、私が描いたキャラクターのらくがきでいっぱいになりました。ドラえもんとのび太が住んでいるページの余白に友達が増えて、みんなが仲良く遊んでいます。カッコいい忍者と銀河を旅するロボットと雷を出せる黄色鼠は皆鬼ごっこをして遊んで、とても楽しく見えました。あの頃の私の友人は彼らだけでした。そして、私たちの友情関係は高校を卒業するまで続きました。私のそばで12年間を過ごした友人達は私を否定することも、傷つけることもできないからです。



今この作文を読んでいる皆様、ピーターパンの話を知っていますか？ピーターパンの話の中にネバーランドという魔法の場所があります。その場所は、いつまでも大人にならない子供たちが毎日楽しく過ごす島です。アニメの中でしか日本のことを知らない私にとって、「日本」という国はまさに^{ネバーランド}楽園でした。日本の中ならどんなに変な人でも皆に受け入れられて、どんなに悪い人でも許しをもらえて、どんなにおかしい子でもハッピーエンドを手に入れます。そして、どんなに寂しい子でもきっと受け入れられる国だと思っていました。

高校に入った私はアニメのおかげでしっかりアイデンティティを形成することができました。アニメが好きではない人なら近づかないし、遊びに行くより家でアニメを見るほうが嬉しかったです。しかし、そのような「日本」は私の幻想にしか過ぎませんでした。

それは大学に入ってから気づきました。日本語や日本文化を学び続けると理想の夢はどんどん壊されました。私のネバーランドは夢にしか存在しないということに気づき始めました。そして、ピーターパンの夢から覚めたウェンディは生き続けなければなりません。

その時に学んだことは日本の習慣でした。日本はどの国にもあるように悪いところもありました；建前があるが、いじめもあります。勤勉はあるが、死ぬほど働く習慣もありま

す。絶対に樂園ではないが地獄でもなかったということが分かりました。しかし私の周り
にいる人々によれば、日本人は「寒いロボットのような国民」からできている「ロボッ
トの国」とよく言うそうです。

その寒さが日本人の特性だということをいつも聞いているので、実際に和歌山大学に留
学生として受け入れられたとき「恐怖」という深い穴に落ちました。ロボットの国へひと
りきりで行くのは気が乗らなかったけれど、それは私が選んだ道なので、勇気を出して飛
行機に乗って来ました。空の旅の後、私はまだ恐怖を感じたまま日本に最初の一步を踏み
出しました。



実際踏み出してみると、足元はた
だのコンクリートでした。上を向く
と、そこにはいつもと同じ青い空が
ありました。その時初めて、「日本」
という国はただの普通の国だとい
うことに気づきました。その後私は
いろいろな人と出会って、友達を作
りました、そしてこれだけは自信満
々に言えます：日本は普通の国だ
ということです。ここには世界の
平和を守るために戦うスーパー
ヒーローは

いないが、ロボットのような市民もいません。

私は人間について気付いたことが一つあります。情報不足になったら、人間はいつも「恐
怖」か「憧れ」を感じています。その感情はある国・民族・神に向かっています。日本を
あまり知らない私の感情と同じです。この人間の本性を乗り越えるためには情報を集めて、
その「何か」を学ぶしかないと思います。

このことを忘れないように、私は毎晩心の絵がついた本をカバンから取り出し、今日も
日本について学んだことを描きました。

True Heart

Natasha Wanda Aryand
Japanese Studies Student / Indonesia

When people are uninformed, oftentimes their reaction to the unknown would be baseless fear or admiration. Countless precedents point to this conclusion, from the fear that gave rise to Nazi Germany to the admiration that gave rise to religious fanaticism. Until now my feeling for Japan swung between the two extremes; a blind admiration borne of a childhood spent watching anime and blind fear borne from learning only the dark side of urban Japan. I found that the only way to overcome these unfounded beliefs is to learn about what I don't know and to keep learning.

Hati Tulus

Natasha Wanda Aryand
Mahasiswa Studi Jepang / Indonesia

Seringkali reaksi orang banyak terhadap hal yang tidak sepenuhnya mereka mengerti adalah rasa takut atau rasa cinta tanpa basis. Sudah banyak terjadi tragedi dikarenakan ini, mulai dari rasa takut yang melahirkan Nazi Jerman dan cinta buta yang melahirkan terorisme atas dasar fanatisme agama. Saya telah merasakan keduanya terhadap Jepang; cinta fanatik yang lahir dari masa kecil monoton anime dan rasa takut karena mempelajari bagian terburuk dari negara Jepang modern. Saya menemukan bahwa satu-satunya cara melampaui kepercayaan tak berbasis seperti ini adalah dengan mempelajari hal yang tidak saya mengerti secara berkelanjutan.

和歌山紀行

モウ テイイ
教育学部 交換留学生 中国

目に入るのは連綿と続く山々、見せてくれるのは雄大な青山である。風景の神工鬼斧の意を悟りながら、明鏡止水の静心で世間の諸多妙味を味わえる。「天下の絶景、和歌山にあり。」和歌山の名所を見るたびに、その自然の禅意に感嘆する。

早春に桜が咲く。紀三井寺を訪れ、風光無限嬌。薄紅の桜に若緑の葉、万物成長。野の花の香りは美味しい空気中に漂い、草が長く鳥が飛ぶ。時々草木はしとしとと降った小雨に潤され、暖かい風が吹いて来る。観音慈悲の霊場を目指す、結縁坂の石段を踏んで登ると、悟りを開かせるような気がする。澄み切った空の下で波がキラキラと輝き、海潮風浪が黒潮市場のダムに打ち寄せる。水玉が飛び散った時、たまには虹が現われる。黄昏の和歌の浦は一風変わった風情がある。青く澄んだ海と白い砂浜、暗闇に染めた水平線、漁火が点々とともっている。

真夏の熊野古道の森に、枝葉が鬱蒼と茂り、蛍の光が点々と光っている。岩にしみいる蟬の声、田舎で響き合う蛙の鳴き声。那智の滝、一瀉千里の勢いがある。青岸渡寺の頂上から見下ろせば、目に映るのは青く見える遠くの山、近くの蝶の舞い。大門坂の情緒に富んだ石畳の道、心に刻む面影。命輝く夏に、降り注ぐ陽、若葉光り、風薫る、「夫婦杉」の樹影が揺れて木漏れ日が見える。

秋たけなわ、照り紅葉が山装う。和大への坂道に落ち、冷ややかな秋雨の鬱陶しい音に打たれた夕紅葉、近くの公園で苔が生えるただの石。物寂しい景は一面にあり、風は落葉を巻き、空に回転させ、久滞し落さない。

師走の十二月、高野山の清泉は凍らず、寒い冬が凛冽である。風花は常に降り、地面に落ちればすぐに溶ける。偶には花卉雪が参拝に来る人々の髪を白く染め、真っ白な雪の華が舞い落ちて来る。山間の奥ノ院や金剛峯寺の屋根だけには、わずかな積雪が見られる。四季によって和歌山の景色も異なっており、その季節の趣も無窮である。

弥生の末に、朝日が昇った時、風にゆらぐ霧も澄んでおり、大年神社の桜が鮮やかに咲いていた。興に乗って旅に出て、天気が晴れると、家屋の隣の田圃が瞳に姿を映していた。小鳥のさえずりに耳を傾けると、その視聴の娯楽に、気持ちりが飄々として心地良い。徒歩で歌を歌い、蒼空への懐かしさを抱きながら、彼方の空を行く飛行機雲が優美な弧線を描いて流れ出るのを眺めた。小川の畔に小憩し、紫陽花の綺麗な倒影に惚れていた。

夕陽が海の果てに消えてしまう前に、自転車に乗って微笑んだ。袖がそよ風に軽く撫でられ、微風が髪をなびかせた。夕暮れの夕焼け、坂道の細い影。境地は何と美しいことだろう。夜のとぼりが降りた。三日月が静かに空にかかっていた。

卯月に和歌山城のお祭り。人波の中で歩き躊躇い、胸に詰まった何かが騒いだ。遠く煌めいた薄暗い街燈、次第に耳に消えていた人々の笑い声、心の底から潮水のように溢れ出た悲しみ。星空を見上げ、世の中の諸行無常を嘆いた。久しぶりにブランコに乗ると、突然烈風が起き、全ては風に吹き散らされて行った。

自然に恵まれている和歌山は、人間味の雰囲気が高く、民俗芸能も百花繚乱である。和歌山に言及すれば、その魅力は歴史に満ち溢れる人文景観と自然風景の結び合わせにある。その特色と言える自然のにぎわいと世界遺産の静謐は、人と自然が調和した和歌山絵巻を見せてくれる。故に、時代によって、無数の文人墨客が和歌山に心を奪われ、貴重な詩絵絶唱を残した。「若の浦に潮満ち来れば潟をなみ 葦辺をさして 鶴鳴き渡る」山部赤人は寥々たる字で、紀州和歌山の魅力を語った。しかし、和歌山の絶景は百世不変である。何人かその壮観な海潮を見たのか、何人か同じような感嘆を嘆いたのか。恐らく私たちに答えを教えてくれるのは、滔々とした流水しかないのだ。



Wakayama Travels

Ting Wei Meng

Faculty of Education, Exchange Student / China

When I first arrived in Wakayama, I looked into the distance. What you see is the rolling green hills, and what you hear is the sound of gurgling streams. In the spring, cherry blossoms bloom, green grass sprouts, and the smell of fresh soil is brewing in the air. Everything recovers in the spring, and one can't help but be full of hope. The warm wind gently blows people's clothing corners, and the clear blue water under the clear sky glows with waves. The waves beat the rocks, and sometimes rainbows can be seen in the scattered water drops. The forest in the midsummer season is full of lush foliage. The cicada cries and the frog crow one after another. The mountains in the distance were green, and butterflies fluttered nearby. Sunlight can be seen in the gap between the branches. Maple leaves fluttered in autumn, rain fell on the leaves, and a dull sound was made. It often snows in winter and melts when it hits the ground. In the monasteries and courtyards, a little snow can be seen.

和歌山游记

孟廷威

教育学部 交换留学生 / 中国

入眼绵绵山峦，所见巍巍青山。品鬼斧神工，悟自然诸多妙处，皆在和歌山。早春时节，樱花繁盛。春至处，娇美无限。继而万物生长，野芳幽香，草长莺飞。暖风徐来，润雨悄降。碧空如洗，海潮涌动，波光粼粼。岸边叠浪击石，水珠散扬，时现彩虹。盛夏森林，枝叶茂盛，萤光点点。听得蝉音一两声，又闻稻田起蛙鸣。远山翠绿，蝴蝶慢舞。阳光倾泻，青叶新绿，清风醉人。于此生命灿烂时节，树影招摇间可见日光。至于枫叶遍野，层林尽染，自又别具风情。秋雨冷冽，雨音拍叶，入耳沉闷。顽石斑驳，青苔遍布。萧瑟之景满目，风卷落叶，于空回旋，久滞不落。寒冬凛冽，清泉不冰，凄神寒骨。薄雪常降，落地即溶。发丝沾白，入手便化。于山间庭院，幽邃古刹，方见微微积雪。四时景异，妙趣无穷。静心观之，稍明四季之禅意。

私から見た和歌山

チョウ マンマン

日本語・日本文化研修留学生 中国

和歌山に来て、もう八か月ほど経った。私は、初めて日本に来て、和歌山大学で勉強しながらいろいろな人と交流しているうちに、多くのことを学ぶだけではなく、新しい分野の知識にも触れられて、本当に幸せだと思う。この数ヶ月、私は休暇や余暇を利用して、友だちと那智や白浜、高野山など世界でも有名なところへ旅行にも行った。

では、これから私の目に映った和歌山について話したいと思うのだ。

まず、「和歌山」の語源は、古くからの名勝地である和歌浦と昔この地は岡山と呼ばれていたことから名付けられた。日本最大の半島である紀伊半島の西側に位置し、南北に長い和歌山県は、海と山に恵まれ、豊かな天然資源を持っている。瀬戸内海式気候として、比較的温暖な気候であるが、年間を通じて天気や湿度が安定しており、全体的に快適な感じがする。また、古くから「木の国」と謳われたほど山林が多く、紀伊水道や熊野灘を挟んで変化に富んだ海岸線が続く。このような深山幽谷の地形から高野山開基による仏教寺院や熊野三山などの神社信仰が発達しており、その一方で中世から近代にかけては紀ノ川沿岸を中心に全国から見ても大規模な都市が形成されていた。



今でもはっきりと覚えているのは、日本に来たばかりの時、関西国際空港から南海電車に乗り換えて和歌山に来る途中、私の胸の中は緊張と期待の気持ちでいっぱいだった。だが、次の瞬間私は感動せずにはいられないシーンに出会った。それは電車の窓から見る夕日の残光が海面に降りそそぎ、水面はまるで金色に満ちたようにきらきらと輝いていた。本当に夢のようにきれいで、今でも忘れられない。



2月に、「Brush-up Program」という活動をきっかけにして親しくなった留学生の施さんと白浜に行った。青い空に白い砂浜、外国に来たみたいな感じでよかった。砂が細かく靴にめちゃくちゃ入るので、童心にかえて裸足で歩くのがオススメだと思う。柔らかい砂を踏んで、心地良い海の風に吹かれながらのんびりと散歩することは、本当に楽しくリラックスできるのではないだろうか。また、三段壁洞窟と言え、洞窟と

いう暗くて狭いイメージだったが、行ってみると全然違って波が凄い迫力で観られる素敵なスポットである。ここは地下にあって気温も低く外が暑かったので、天然の冷房のように涼しかった。本当に面白い旅行だったから、夏になったら、ぜひもう一度行きたいと思う。

和歌山と言うと、観光資源が本当に豊富であると思う。和歌浦の海岸風景、白浜の円月島や三段壁、熊野古道の天高くそびえる巨樹や熊野那智大社にある立派な建物などは、いずれも私に深い印象を残した。春休みの間に、何人かの友達と高野山に行った。高野山は、平安時代のはじめ、日本が生んだ偉大な聖人、弘法大師によって開かれた日本仏教の一大聖地である。現在は世界文化遺産として、「壇上伽藍」と呼ばれる根本道場を中心とする宗教都市を形成しているそうだ。私が行ったときはまだ寒かったし、雪がまだ溶けていなかったもので、霧雨の中で高野山の息づかいを深く感じていたことで、身体の汚れを落とし、魂まで浄化されたような気がした。それに、高野山の奥之院で「中吉」のおみくじを二枚引き、いい祈りを込めてその日程を終えた。このことは今も記憶に深く残っていて、私にとって非常に貴重な精神的財産だと言える。

旅行に行く以外に、留学生として和歌山で暮らしている。和歌山市といえば、和歌山城や和歌山大学を思い浮かべるかもしれない。和歌山城は徳川御三家の一つ紀州藩徳川家の居城であり、城跡は国の史跡に指定されている。これまで何度か和歌山城に行ったことがあるが、和歌山公園の桜などの景観も天守閣もきれいでお城から和歌山市を見下ろすこと



もできる。ところで、和歌山大学の学生としての生活は非常に充実しているし、日本語の知識を多く学ぶことができるだけでなく、豊富な日本文化に触れることもできて、日本人と友達になれて、本当にうれしく思う。また、交通の面では、和歌山は大阪や京都、奈良に近いが、南海電車に乗れば関西国際空港までわずか四十分ほどで行けるので、外出にはとても便利だ。

和歌山ではどこでも関西の特徴を持っているレストランが見られる。たとえば餃子の王将のように関西風のファーストフード店としても、スシローのような関西の和食としても、関西飲食の独特な情緒を感じさせられるのである。大阪を中心とする関西地域には、日本の味噌・醤油の発祥の地である和歌山や、古都の伝統的な食文化が生きる京都や奈良、ブランド牛でも有名な兵庫や滋賀などが隣接し、海・山・里から多種多様な食材が産出、加工されている。だから、以上のことから分かるように、関西では食文化が非常に発達していると言える。そして、関西人の性格にある情熱的なもてなしも店員と店の明るい雰囲気から感じられて、とても親切だと考える。

要するに、完璧ではないし、大都市の繁華さにも及ばないのだが、和歌山は独特の魅力を持っており、生活リズムも比較的緩やかで住みやすい町として多くの人に愛されている。だから、現在私は日研生として、毎日いろいろなものを体験して生活を送っており、和歌山での生活を大切にしている。本当にこの町が大好きだね！

My view of Wakayama

ZHANG MANMAN

Japanese Studies Student / China

Wakayama is located on the west side of the Ji-yi Peninsula. It is long and narrow from north to south. Known as the "forest kingdom" since ancient times, numerous mountains, coastline, Buddhism and shrine beliefs are very developed. In particular, the coastal areas of Jizhichuan were the center, and large-scale cities were formed nationwide.

Speaking of Wakayama, tourism resources are very rich. I was deeply impressed by the coastal scenery in Hegpo, the full moon Island and the magnificent buildings in Kumano. During spring holidays, I went to Mount Koya, which was a very meaningful trip. Life in Wakayama city is really wonderful. We can not only learn a lot of knowledge, but also get in touch with the unique Japanese culture. When it comes to food, Wakayama has many kansai restaurants. People can not only feel the unique taste of Kansai food, but also feel the warmth of kansai people in the bright atmosphere of the staff and the store.

In a word, Wakayama is loved by many people for retaining its unique charm. Now, as a overseas student, I experience a variety of life while observing every day and enjoy every day here. I really like this city!

我眼中的和歌山

张 漫漫

日本語・日本文化研修留学生 / 中国

和歌山位于纪伊半岛的西侧，南北狭长，依山靠海，有着丰富的自然资源。这里气候温暖，四季如春。自古以来就被誉为“森林王国”，山地众多，海岸线连绵不绝，佛教及神社信仰十分发达。尤其是中世纪到近代以纪之川沿岸为中心，形成了全国范围内的大规模都市。

说起和歌山，旅游资源真的非常丰富。和歌浦的海岸风景、白滨的圆月岛和三段壁、熊野古道的参天巨树以及熊野那智大社的气派建筑等，都给我留下了深刻的印象。春假期间，我去了高野山见学参观。高野山是平安时代初期，由弘法大师开创的日本佛教的一大圣地。在和风细雨中仔细感受着高野山的气息，仿佛洗去了身体的污秽，连灵魂都得到了净化。

和歌山市交通便利，生活节奏缓慢，舒适宜居。我也去过几次和歌山城，不论是和歌山公园的樱花还是天守阁建筑都很漂亮，从楼顶甚至可以俯瞰整个和歌山市。另外在和歌山大学的生活也非常充实，不仅能学到很多日语知识，还能接触到丰富的日本文化，真的很开心。

说起饮食方面，在和歌山能看到很多具有关西特色的餐厅。不仅能让人感受到关西饮食的独特情趣，还能从店员和店里的明朗气氛中感受到关西人性格中的热情好客，备感亲切。

总而言之，和歌山因保留着它独特的魅力而受到很多人喜爱。现在，我作为一名日研生，每天在观察的同时体验各种各样的生活，也享受在这里的每一天。真的很喜欢这个城市！

日本の交通

ナヨミ シズン
経済学部 交換留学生 フランス

今年の日本の大学交換留学での交通の経験についてお話したいと思います。和歌山に来る前に東京に到着したとき、私は日本であらゆる種類の交通手段を体験することができました。電車、飛行機、夜行バス。公共交通機関は私たちがいる国の代表であり、日本では日本のシステムと同じように複雑です。

日本では利便性が最優先ですが、外国人にとって、日本の交通システムを理解するのは難しいように思えるかもしれません。正直なところ、私は日本に来るのは初めてではなく、以前は九州にいる私の家族の車を中心に使っていましたから日本の交通を使う機会があまりありませんでした。しかし、東京では、日本語が話せず、またはインターネットを利用できる電話を持っていない外国人の場合、方位を見つけるのは非常に困難です。確かに、日本へ来る前に、東京ではすべてを「メトロ」と呼んでいると思いましたが、同じ駅で異なる会社の列車が共存しています。フランスの大学で地理の授業中に、いくつかの民間企業が列車の運営をしていることを知りましたが、私は最近これに本当に気づきました。9月に日本へ着いたばかりの時、1日で交通の仕組みを理解することができました。しかし、日本で1年過ごした後でも、まだまだ複雑なことが残っています。たとえば、初めて見てわからない路線では、グーグルマップでルートを調べると、「電車を降りないで」と案内するのに、実は、向こうのホームで別の電車に乗らないといけない状態が何度もあり間違えました。私は和歌山に帰るときに空港向き行きの電車に乗ってしまったこともあります。私を混乱させたもう一つのこと、チケットの価格でした。パリでは、月額定額（1万円程度）で定額を支払い、自由に交通機関を利用できます。また、メトロチケットの価格は固定されたままです。日本では、PassmoやICOCAを購入していなかったら、今でもまだ駅の価格を探しているでしょう。



さまざまな種類の公共交通機関が非常に便利です。新幹線のような電車は、値段が高いですが、とても快適です。新幹線に初めて乗ったのは4年前です。電車の音はほとんど聞こえません。フランスの新幹線（TGV）と比べると、それほどうるさくはありません。座席もゆったりとしていて、何よりシートをひっくり返すことができます！びっくりしました。長距離バスも快適です。東京・和歌山にバスで行かないといけない時は、夜行バスにカーテンがついていて、席を横に伸ばせました！その日とてもいい睡眠ができました。私がまた面白いと思ったのは、テーマがある列車です。たとえば和歌山には猫柄にしたとても可愛い電車があります。まだ行ったことはありませんが、いつか乗りたいです。便利さと快適さには何よりです。さらに、驚いたことは、女性用の電車です！設置された理由は、セクハラのせいだそうです。女性の安全にも良いと思いますが、何処でも男性も女性も誰もセクハラを受けるべきではないから、そのタイプの電車の存在は疑わしいものではないでしょうか。

日本では公共交通費が高いですが、体験してみるとそれなしでは行けません。何人かの日本人が電車が好きな理由を理解できました。私が様々な国で交通を体験した中では、日本は確かに最高の公共交通機関を持っています。気持ちが高く、サービスも良いので、日本で留学をしてくれた人も私と同じように思ってもらえたらいいですね。

Transportation in Japan

Naiomi Sison

Faculty of Economics, Exchange Student / France

This essay talks about my experience with public transportation in Japan by comparing with France. In one hand, I wrote what I thought was difficult to understand, when I first arrived this year, regarding transportation in Japan. The ways to buy a train or metro ticket, the differences between each lines, the signs, and even the use of Google Maps that was sometimes not accurate. In another hand, I explain in what Japanese transportation is convenient, comfortable and has a very good service. For instance, the night bus completely astonished me and the comfort of the Shinkansen as well, (even if I did not take it this year) which were both very pleasant. In short, I had a really good experience with Japanese transportation in general, even if there are things that I still don't really understand at this day.

Les transports au Japon

Naiomi Sison

Faculté d'Économie, Étudiante en échange universitaire / France

Ce texte raconte mon expérience avec les transports au Japon. Dans ce texte, j'ai comparé la France et le Japon. J'ai rédigé une première partie sur les choses que je trouvais compliquées dans les transports, depuis mon arrivée cette année au Japon comme la difficulté d'acheter un ticket de train, la lecture des panneaux et l'utilisation de Google Maps qui n'est parfois pas exacte. Dans un deuxième temps j'explique en quoi les transports au Japon sont très confortables, utiles et que le service offert est agréable. Par exemple l'utilisation du bus de nuit qui m'avait très surprise, ou bien même le Shinkansen (même si je n'y suis pas montée cette année), qui a un niveau de confort qui dépasse mes attentes. En bref, j'ai eu une très bonne expérience avec les transports au Japon même s'il y a des choses que je ne comprends toujours pas très bien.

僕から後輩の君へ

リュウ ユハク
経済学部 研究生 中国

秋暑し不眠の夜や天の川
しばれたや彷徨うな日々日足伸ぶ
山笑ふ桜とともに卒業式
梅雨入りと寂たる若葉潤して



新入生の皆さん、ご入学おめでとう！皆さんの入学をきっかけに、皆さんと繋がれることをすごくうれしくと思っている。これからの新たな生活に、不安や期待で胸を躍らせているかもしれないが、皆さんより少しばかり経験のある先輩として、僅かばかりのアドバイスをしたいと思う。

“重くないかな？” “めちゃ重そう、こいつ干し梅顔してんじゃん...”

一年前のあの日は、今でもはっきりと覚えている。スーツを着ているのにまるで少年のような僕は、体の半分ぐらいもあるキャリーバックを引っ張りながら、一步ずつ和歌山大学の坂を登っていた。荷物が重すぎるのだろうか、あるいは緊張感だろうか、まったく分からないが、汗まみれのシャツの下に、どきどきしていた胸の感覚と燃えるほどの呼吸、それだけしか覚えていない。あの強い日差しをとともに、僕はこの緑の海に足を踏み入れていた。和歌山といえば、皆さんはどんなイメージを持っているだろうか。たぶんまだピントこないかもしれないが、ここに住んで、8 か月ぐらい経つ僕も、まだいろんなところに行っていないから、見ていない景色まだいっぱいある。和歌山はやんわりと和やかな雰囲気包まれているけど、けっして静かではないなと僕は今そう思っているんだ。なぜなら、スーパーなどは、賑わっていて、レジには人が常に並んでいることもあるからだ。深夜、バイトの帰り道に居酒屋から出たばかりサラリーマンたちが、酔って歌う声が聞こえたこともたまにある。ハーレーエンジンの狂ったような音が、窓を閉めていても、はっきり聞こえるなんて、まったく思わなかった。田舎のくせに。田舎だからこそ、買い物が非常に便利だったり、業務スーパーとかドンキなど、私たち自炊の生活者をほんとに助けてくれる。それにきれいな空気がはっとするくらいおいしかった。たまに放課後の小学生たちに出会ったら、元気なあいさつをしてくれるが、照れないでちゃんと答ようよ。たまにスマホから離れて、まわりの景色をゆっくりと見たら、人々の間にお互いの声が落ち着いて聞こえる。いろんな短所と長所をあわせて持っている和歌山だからこそ、ここの和やかさや人の優しさを皆が感じて、どんどん安堵できるようになるはずだ。

初めてバスに乗った時、20分おきに発車するということには少し驚いた、自転車はすごく重要な存在になるかもしれないから、中古店に寄ってみたいらいいと思う。NHKの係の人は決して道理の通じない人ばかりではないから、偶に来たら優しく対応して、対話練習の

チャンスだと思ってもいいと思うよ。サンドラッグなどで買い物した時、その都度、“ポイントカードを持ちではないでしょうか。”とレジの人に聞かれたら、ごまかさないでください。“ポイントカードが作りたい”などと答えてみよう！　こうやって、様々な経験を積み重ねて、新たなことに挑戦して、自分らしい生活を過ごしてみよう！

和歌山の気候は、まるで恋にはまっている女の心のような気候で、本当に複雑だな。

“明日、また雨かよ”と呟きながら、乾いていない靴下を元に戻した。6月中旬ごろに、和歌山は梅雨を迎えた、5月下旬はまだエアコンの暖房を使っていたのに、6月に入ったばかりのある日、温度が急に上がった。この頃からずっと11月まで、夏服を着て過ごせる。12月が近づくと、そろそろ冬用の掛け布団を買わなければならない。和歌山の冬は、とても寒かった。中国で北の方の出身だけど、南で六年ぐらい生活していた僕にとっても、まだまだ堪えられない。3月になって、また新たな春を迎えた。

学校の生活については、自分で探してください。自分が何か好きなのか、何を知りたいのか、色々なことを自分で考えて、様々な活動に参加して、体験したり、好奇心を満たしたりしてください。そして、明日はどんな人に出会えるだろう、できることがどのくらいあるだろうか、自分に期待して、たとえ一人で勝手に盛り上がりもいいから。思い出を自分の手で作って、景色など自分の目で見て、体験してください。今の自分を未来の自分が見て、“おもしろかった。”と思えたら、それは素晴らしいと思うよ。どうぞ今の時間を楽しんでください。

今年は強い雨だ、いつまで続くのか見当がつかない。でも、このことは私たちに与えられた試練だと思う。「きっとはれる日がくる」と僕は心から信じている。

微かな5時のチャイムの響きが聞こえたから、そろそろ晩ご飯の支度しないと。“この時期の梅干しほんまに美味しいな！”

最後まで、このくだらなくて冗長な僕の「君へのアドバイス」を読んでくれて、誠にありがとうございます。



A letter to you

Yubo Liu

Faculty of Economics, Research Student / China

Thanks for meeting, for the time being, as a "coming person", let me talk a little about Wakayama and come up with some suggestions. The first thing I remembered was that hot summer, I stepped into this green ocean. Even after living here for more than eight months, there are still many unseen scenery. Wakayama, originally thought to be like a sheep, for me now, it really has "lively" not lost to the metropolis. Occasionally, there are also salaried people who just crawled out of the izakaya and sang songs on the streets at night; and the motorcycle team should be Wakayama specialty, and I often heard the sound of Sahan's engine, which made me doubt my ears again, but just Because this country also brings a sense of security that the city does not have; people slow down, as if to unload the cell phone. The climate here is quite like the south, but spring and winter always come two or three months late; the temperature is even more clueless, and the hot wind was a few nights before, and immediately after arriving at home, it was not possible to dress degree. When you first came here, bicycles might be more important. You can go to the Middle Ages store to check it out. At first, it may not be as smooth as communication, but don't be discouraged.

给你的一封信

劉育伯

經濟學部 研究生 / 中國

感谢相遇，暂时让我以“过来人”的身份，稍微讲讲我生活过来的和歌山和提一些建议吧。最开始回忆起来的是那个炙热的夏天，我踏进了这片绿色的海洋。就算在这里生活了八个月，仍有许多未曾见过的风景。原以为像绵羊似的和歌山，对现在的我来说，它着实也有不输给大都市的“热闹”。偶尔深夜的街道上也有刚从居酒屋爬出来唱着歌的工薪族们；而摩托车队应该是和歌山特色，常会听到撒欢儿了的引擎声，不由得让我又怀疑起了自己的耳朵，但就是因为这乡下呀，同样扎实的带来了城市没有的安全感；人们放慢着脚步，也仿佛将那手机的重荷卸去了般。这里的气候挺像南方，但春冬总是会晚两三个月才来；温度更是让人没有头绪了，明明前几阵子还是开着热风的晚上，紧接着就到了在家不能穿衣的程度。刚来这的时候，自行车可能会比较重要可以去中古店瞧瞧。一开始也许没法交流的那么流畅，但是别灰心谁一开始都这样，多去创造和寻找能说话的机会，成果和实绩只会从不断的无聊的磨砺和沉淀中得来，所以放心去努力呀。其实还想再说说关于学校，但总觉得自己去探索可能会更有趣一些。最后，感谢将这冗长的信读下来的你。



2020 和歌山大学 留学生による第 12 回作文コンクール
～世界に、和歌山に、あなたの思いを伝えましょう！～

発行日：2020年8月

発行者：和歌山大学 研究グローバル化推進機構 国際連携部門
〒640-8510 和歌山市栄谷 930 TEL 073-457-7524

冊子制作：松下恵子(和歌山大学日本学教育研究センター特任助教)

